



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 7 年度

笠野原国営施設機能保全事業

B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事

積 算 書

（当初）

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

工事別工事名: B 幹線水路 (下高隈工区) 復旧工事

[illegible]

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

工事名 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事

工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			18,140,000	
・工事原価			15,102,000	
純工事費			10,422,000	
・直接工事費			8,521,000	
・直接工事費(仮設工を除く)	1.000	式	8,399,000	
・直接工事費(仮設工)	1.000	式	122,000	
・間接工事費			6,581,000	
・共通仮設費			1,901,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$7,700,000 \times ((16.230 \times 1.400) \times 1.000 \times 1.020 \times 1.000)$			1,785,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			116,000	
・現場環境改善費(率計上)				
$7,445,000 \times (1.560)$			116,000	
・現場環境改善費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			4,680,000	
・現場管理費(率計上)				
$9,601,000 \times ((38.690 \times 1.200) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			4,680,000	
・現場管理費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費(一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額(直工)	1.000	式	0	
・官貸額(事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額(直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$14,281,000 \times (21.300 \times 1.000 + 0.04)$			3,047,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費(直工・事業損失防止)			0	
支給品費(直工)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			1,076,000	
処分費(準備費の内数)			0	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			821,000	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
工事名	B幹線水路(下高限工区)復旧工事

工事別工事名: B幹線水路(下高限工区)復旧工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費(仮設工を除く)				8,399,000	
・舗装復旧工	1.000	式		4,954,000	
・・舗装準備工	1.000	式		294,000	
BA0802 不陸整正	2,176	m ²	135	293,760	歩A・単A B単 1号
合 計				293,760	
・・アスファルト舗装工	1.000	式		3,649,000	
BA0809 表層(車道・路肩部) t=4cm	2,176	m ²	1,677	3,649,152	歩A・単A B単 2号
合 計				3,649,152	
・・付帯施設工	1.000	式		1,011,000	
000003 区画線工 B=15cm, 白, 実線 t=1.0mm	940	m	314	295,160	歩A・単A B単 3号
000004 区画線工 B=15cm, 白, 破線1.0m, t=1.0mm	5.0	m	337	1,685	歩A・単A B単 4号
000005 L型側溝 新設,250B	60.4	m	11,830	714,532	歩A・単A B単 5号
合 計				1,011,377	
・仮返し道路撤去復旧工	1.000	式		1,675,000	
・・仮返し道路撤去復旧工 仮返し道路工(農道東原杉堀線)	1.000	式		374,000	
B18241 安定シート撤去工 980N/5cm以上	578	m ²	68	39,304	歩A・単A B単 6号
BA0202 舗装版破砕 t=15cm以下	621	m ²	221	137,241	歩A・単A B単 7号
B02315 殻運搬・処理(産業廃棄物処分費) アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km	25	m3	6,705	167,625	歩A・単A B単 8号
B02315 殻運搬・処理(産業廃棄物処分費) 廃プラシック, 鹿屋市, L=4.6km	2.3	m3	13,153	30,252	歩A・単A B単 9号
合 計				374,422	
・・仮返し道路撤去復旧工 仮返し道路工(県道下高限川東線)	1.000	式		285,000	
B18241 安定シート撤去工 980N/5cm以上	351	m ²	68	23,868	歩A・単A B単 10号
BA0202 舗装版破砕 t=15cm以下	428	m ²	238	101,864	歩A・単A B単 11号
B02315 殻運搬・処理(産業廃棄物処分費) アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km	21	m3	6,705	140,805	歩A・単A B単 12号
B02315 殻運搬・処理(産業廃棄物処分費) 廃プラシック, 鹿屋市, L=4.6km	1.4	m3	13,153	18,414	歩A・単A B単 13号
合 計				284,951	
・・仮返し道路撤去復旧工 土工	1.000	式		916,000	
BA0103 掘削 土砂	218	m3	310	67,580	歩A・単A B単 14号
B01209 盛土 盛土[粘性土(流用)]	321	m3	278	89,238	歩A・単A B単 15号
000016 流用土運搬 仮置場 現場	321	m3	669	214,749	歩A・単A B単 16号
000017 残土処理	222	m3	2,451	544,122	歩A・単A B単 17号
合 計				915,689	
・・法面復旧工	1.000	式		100,000	
000018 法面復旧工 ワラ芝工 W=1.00	121	m ²	824	99,704	歩A・単A B単 18号
合 計				99,704	
・仮設ヤード撤去復旧工	1.000	式		1,765,000	

[illegible]

[illegible]

事業名	笠野原国営施設機能保全事業					
工事名	B幹線水路（下高隈工区）復旧工事					
工事別工事名: B幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
BA0802	*** B単 - 1号 *** 不陸整正					
			m ²	135		歩A・単A
BA0809	*** B単 - 2号 *** 表層（車道・路肩部）					
	t=4cm		m ²	1,677		歩A・単A
000003	*** B単 - 3号 *** 区画線工					
	B=15cm, 白, 実線 t=1.0mm		m	314		歩A・単A
000004	*** B単 - 4号 *** 区画線工					
	B=15cm, 白, 破線1.0m, t=1.0mm		m	337		歩A・単A
000005	*** B単 - 5号 *** L型側溝					
	新設,250B		m	11,830		歩A・単A
B18241	*** B単 - 6号 *** 安定シート撤去工					
	980N/5cm以上		m ²	68		歩A・単A
BA0202	*** B単 - 7号 *** 舗装版破砕					
	t=15cm以下		m ²	221		歩A・単A
B02315	*** B単 - 8号 *** 殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km		m ³	6,705		歩A・単A
B02315	*** B単 - 9号 *** 殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m ³	13,153		歩A・単A
B18241	*** B単 - 10号 *** 安定シート撤去工					
	980N/5cm以上		m ²	68		歩A・単A
BA0202	*** B単 - 11号 *** 舗装版破砕					
	t=15cm以下		m ²	238		歩A・単A
B02315	*** B単 - 12号 *** 殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km		m ³	6,705		歩A・単A
B02315	*** B単 - 13号 *** 殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m ³	13,153		歩A・単A
BA0103	*** B単 - 14号 *** 掘削					
	土砂		m ³	310		歩A・単A
B01209	*** B単 - 15号 *** 盛土					
	盛土[粘性土(流用)]		m ³	278		歩A・単A
000016	*** B単 - 16号 *** 流用土運搬					
	仮置場 現場		m ³	669		歩A・単A
000017	*** B単 - 17号 *** 残土処理					
			m ³	2,451		歩A・単A
000018	*** B単 - 18号 *** 法面復旧工					
	ワラ芝工 W=1.00		m ²	824		歩A・単A
B18241	*** B単 - 19号 *** 安定シート撤去工					
	980N/5cm以上		m ²	68		歩A・単A
000020	*** B単 - 20号 *** 仮設ヤード撤去工					
	撤去, t=20cm		m ³	2,799		歩A・単A
B02315	*** B単 - 21号 *** 殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m ³	13,153		歩A・単A
B15501	*** B単 - 22号 *** 表土埋戻					

[illegible]

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高限工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高限工区)復旧工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** B単 - 1号 ***						
BA0802	不陸整正		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0831	SP 不陸整正 無し、-、-、なし、	1.000	m ²	135.4	135	S単 28号
	合 計				135	
	単 価				135	
*** B単 - 2号 ***						
BA0809	表層(車道・路肩部) t=4cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0843	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超、40mm、アスファルト混合物 (2.35t/m ³)、プライムコート 各種、なし、再生密粒度ア ス(13)	1.000	m ²	1,677	1,677	S単 29号
	合 計				1,677	
	単 価				1,677	
*** B単 - 3号 ***						
000003	区画線工 B=15cm、白、実線 t=1.0mm		m		1,000	歩A 当たり算出
S08801	【区画線工】 区画線設置、溶融式(手動)、実線、15cm、なし、昼間施工、豪雪補正なし、	1.000	m	198	198	S単 11号
T00001	区画線材料費 実線 厚1.0mm、幅15cm	1.000	m	116	116	T単 1号
	合 計				314	
	単 価				314	
*** B単 - 4号 ***						
000004	区画線工 B=15cm、白、破線1.0m、t=1.0mm		m		1,000	歩A 当たり算出
S08801	【区画線工】 区画線設置、溶融式(手動)、破線、15cm、なし、昼間施工、豪雪補正なし、	1.000	m	220	220	S単 12号
T00002	区画線材料費 破線 厚1.0mm、幅15cm	1.000	m	117	117	T単 2号
	合 計				337	
	単 価				337	
*** B単 - 5号 ***						
000005	L型側溝 新設、250B		m		10,000	歩A 当たり算出
SA0873	SP プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個) 据付、有り、有り、250B 鉄筋コンクリート形(450×155×600	10.000	m	11,830	118,300	S単 30号
S02116	再生クラッシュラン 、RC-40 40~0mm 流用材、	0.450	m ³	0	0	S単 7号
	合 計				118,300	
	単 価				11,830	
*** B単 - 6号 ***						
B18241	安定シート撤去工 980N/5cm以上		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去	1.000	m ²	68	68	S単 15号
	合 計				68	
	単 価				68	
*** B単 - 7号 ***						
BA0202	舗装版破砕 t=15cm以下		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下、-、有り、あり	1.000	m ²	221.4	221	S単 24号

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
工事名	B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事

工事別工事名: B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				221	
	単 価				221	
	*** B 単 - 8号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費） アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材処分費 アスファルト殻	1,000	m3	3,500	3,500	S 単 8号
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕, 機械積込(舗装版厚15cm以下), 無し, 6.5km以下,	1,000	m3	3,205	3,205	S 単 23号
	合 計				6,705	
	単 価				6,705	
	*** B 単 - 9号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費） 廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材処分費 廃プラスチック	1,000	m3	11,000	11,000	S 単 9号
SA0121	SP 土砂等運搬 小規模, 1' ヶ約山積0.28m3(平積0.2m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 5.0km以下	1,000	m3	2,153	2,153	S 単 19号
	合 計				13,153	
	単 価				13,153	
	*** B 単 - 10号 ***					
B18241	安定シート撤去工 980N/5cm以上		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去	1,000	m ²	68	68	S 単 15号
	合 計				68	
	単 価				68	
	*** B 単 - 11号 ***					
BA0202	舗装版破砕 t=15cm以下		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, -, 有り, なし	1,000	m ²	238.1	238	S 単 25号
	合 計				238	
	単 価				238	
	*** B 単 - 12号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費） アスファルト殻, 鹿屋市, L=4.0km		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材処分費 アスファルト殻	1,000	m3	3,500	3,500	S 単 8号
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕, 機械積込(舗装版厚15cm以下), 無し, 6.5km以下,	1,000	m3	3,205	3,205	S 単 23号
	合 計				6,705	
	単 価				6,705	
	*** B 単 - 13号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費） 廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材処分費 廃プラスチック	1,000	m3	11,000	11,000	S 単 9号
SA0121	SP 土砂等運搬 小規模, 1' ヶ約山積0.28m3(平積0.2m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 5.0km以下	1,000	m3	2,153	2,153	S 単 19号
	合 計				13,153	

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
工事名	B幹線水路(下高隈工区)復旧工事

工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				13,153	
	*** B単 - 14号 ***					
BA0103	掘削 土砂		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし	1.000	m3	309.6	310	S単 18号
	合 計				310	
	単 価				310	
	*** B単 - 15号 ***					
B01209	盛土 盛土[粘性土(流用)]		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし	1.000	m3	277.9	278	S単 22号
	合 計				278	
	単 価				278	
	*** B単 - 16号 ***					
000016	流用土運搬 仮置場 現場		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,バツ杓山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.3km以 下	1.000	m3	415.5	416	S単 20号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満	1.000	m3	252.7	253	S単 17号
	合 計				669	
	単 価				669	
	*** B単 - 17号 ***					
000017	残土処理		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0121	土砂等運搬(処分場) 標準,バツ杓山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,5.5km以 下	1.000	m3	1,151	1,151	S単 21号
S02123	建設発生土処分費 土砂	1.000	m3	1,300	1,300	S単 10号
	合 計				2,451	
	単 価				2,451	
	*** B単 - 18号 ***					
000018	法面復旧工 ワラ芝工 W≒1.00		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S02081	芝付工 全面張,人工芝(幅100cm程度)	1.000	m ²	824	824	S単 1号
	合 計				824	
	単 価				824	
	*** B単 - 19号 ***					
B18241	安定シート撤去工 980N/5cm以上		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去	1.000	m ²	68	68	S単 15号
	合 計				68	
	単 価				68	
	*** B単 - 20号 ***					

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
工事別工事名: B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
000020	仮設ヤード撤去工 撤去, t=20cm		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0101	掘削[撤去時] 土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3未満, -, -, -	1,000	m3	347.9	348	S 単 16号
SA0121	土砂等運搬（処分場） 標準, バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 5.5km以下	1,000	m3	1,151	1,151	S 単 21号
S02123	建設発生土処分費 土砂	1,000	m3	1,300	1,300	S 単 10号
	合 計				2,799	
	単 価				2,799	
	*** B 単 - 21号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費） 廃プラスチック, 鹿屋市, L=4.6km		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材処分費 廃プラスチック	1,000	m3	11,000	11,000	S 単 9号
SA0121	SP 土砂等運搬 小規模, バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 5.0km以下	1,000	m3	2,153	2,153	S 単 19号
	合 計				13,153	
	単 価				13,153	
	*** B 単 - 22号 ***					
B15501	表土埋戻 t=20cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S15003	耕地復旧(表土掘削・埋戻)[表土掘削費・表土埋戻費] 表土埋戻, なし	1,000	m ²	78	78	S 単 13号
	合 計				78	
	単 価				78	
	*** B 単 - 23号 ***					
000023	耕地復旧 t=20cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S15004	耕地復旧(耕起) 有	1,000	m ²	43	43	S 単 14号
	合 計				43	
	単 価				43	
	*** B 単 - 24号 ***					
000024	張りコンクリート工 18N-8-25(20)		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, -, 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1,000	m3	35,010	35,010	S 単 26号
	合 計				35,010	
	単 価				35,010	
	*** B 単 - 25号 ***					
000025	型枠工 均しコンクリート型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	均しコンクリート型枠 一般型枠, 均しコンクリート	1,000	m ²	5,003	5,003	S 単 27号
	合 計				5,003	
	単 価				5,003	
	*** B 単 - 26号 ***					
B19021	交通誘導警備員 交通誘導警備員 B		人		1,000 人	歩A 当たり算出

[illegible]

事業名	笠野原国営施設機能保全事業					
工事名	B幹線水路（下高隈工区）復旧工事					
工事別工事名: B幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02081	芝付工					
	芝付工 全面張,人工芝(幅100cm程度)		m ²	824		歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	交通誘導警備員B					
	交通誘導警備員B		人	15,300		歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
S02116	道路用塗料 トライツパ [®] イント(JIS K 5665)					
	道路用塗料 トライツパ [®] イント(JIS K 5665) 溶融式 3種1号 ガラス'-ス' 15～18% 白,,		kg	225		歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	ガラス'-ス' (JIS R 3301)					
	ガラス'-ス' (JIS R 3301) 1号(0.106～0.850mm),,,		kg	175		歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
S02116	接着用プライマー					
	接着用プライマー 区画線用,,		kg	470		歩A・単A
	*** S単 - 6号 ***					
S02116	軽油					
	軽油 ハトール給油,,		L	159		歩A・単A
	*** S単 - 7号 ***					
S02116	再生クラッシャラン					
	再生クラッシャラン ,RC-40 40～0mm 流用材,,		m ³	0		歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
S02123	建設廃材処分費					
	建設廃材処分費 アスファルト殻		m ³	3,500		歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
S02123	建設廃材処分費					
	建設廃材処分費 廃プラスチック		m ³	11,000		歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
S02123	建設発生土処分費					
	建設発生土処分費 土砂		m ³	1,300		歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
S08801	【区画線工】					
	【区画線工】 区画線設置,溶融式（手動）,実線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補正なし,,,		m	198		歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
S08801	【区画線工】					
	【区画線工】 区画線設置,溶融式（手動）,破線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補正なし,,,		m	220		歩A・単A
	*** S単 - 13号 ***					
S15003	耕地復旧(表土掘削・埋戻)[表土掘削費・表土埋戻費]					
	耕地復旧(表土掘削・埋戻) 表土埋戻,なし		m ²	78		歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
S15004	耕地復旧(耕起)					
	耕地復旧(耕起) 有		m ²	43		歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去					
	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去		m ²	68		歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
SA0101	掘削[撤去時]					
	SP 掘削 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-		m ³	347.9		歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満		m ³	252.7		歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし		m ³	309.6		歩A・単A
	*** S単 - 19号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 小規模,ハックル山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,5.0km以下		m ³	2,153		歩A・単A
	*** S単 - 20号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 標準,ハックル山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.3km以下		m ³	415.5		歩A・単A
	*** S単 - 21号 ***					
SA0121	土砂等運搬（処分場）					

[illegible]

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02081	芝付工		m ²		10,000	歩A 当たり算出
	芝付工 全面張,人工芝(幅100cm程度)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	全面張		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)材料	人工芝(幅100cm程度)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P50005	人工張芝(ワラ)		m ²			
	人工芝(幅100cm程度)	10.800		245	2,646	
R01001	土木一般世話役	0.060	人	33,048	1,983	
R01003	普通作業員	0.170	人	21,216	3,607	
	合 計				8,236	算出数量 10,000 m ²
	単 価		m ²		824	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	交通誘導警備員B		人		1,000	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R01032		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務単価算定区分	基(C)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01032	交通誘導警備員B	1.000	人	15,300	15,300	
	合 計				15,300	算出数量 1,000 人
	単 価				15,300	
	*** S単 - 3号 ***					
S02116	道路用塗料 トラフィックペイント(JIS K 5665)		kg		1,000	歩A 当たり算出
	道路用塗料 トラフィックペイント(JIS K 5665) 溶融式 3種1号 ガラスビーズ15~18% 白,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材(Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード(P)	P35306		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード(K)					
P35306	道路用塗料 トラフィックペイント(JIS K 5665) 溶融式 3種1号 ガラスビーズ15~18% 白	1.000	kg	225	225	
	合 計				225	算出数量 1,000 各単位
	単 価				225	
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	ガラスビーズ(JIS R 3301)		kg		1,000	歩A 当たり算出
	ガラスビーズ(JIS R 3301) 1号(0.106~0.850mm),,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材(Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード(P)	P35313		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード(K)					
P35313	ガラスビーズ(JIS R 3301) 1号(0.106~0.850mm)	1.000	kg	175	175	
	合 計				175	算出数量 1,000 各単位
	単 価				175	
	*** S単 - 5号 ***					
S02116	接着用プライマー		kg		1,000	歩A 当たり算出
	接着用プライマー 区画線用,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材(Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード(P)	P35311		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード(K)					

事業名		笠野原国営施設機能保全事業				
工事名		B幹線水路（下高隈工区）復旧工事				
工事別工事名: B幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P35311	接着用ﾌﾟﾗｲﾑ- 区画線用	1.000	kg	470	470	
	合 計				470	算出数量 1.000 各単位
	単 価				470	
	*** S単 - 6号 ***					
S02116	軽油		L		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	軽油 ﾊﾞﾄｰﾙ給油			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材（Pコード）		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード（P）	P34002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J）			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード（K）					
P34029	軽油	1.000	L	159	159	
	ﾊﾞﾄｰﾙ給油					
	合 計				159	算出数量 1.000 各単位
	単 価				159	
	*** S単 - 7号 ***					
S02116	再生クラッシャラン		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm 流用材			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地区資材（Jコード）		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード（P）			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J）	J96001		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード（K）					
J96001	再生クラッシャラン	1.000	m3	0	0	
	RC-40 40～0mm 流用材					
	合 計				0	算出数量 1.000 各単位
	単 価				0	
	*** S単 - 8号 ***					
S02123	建設廃材処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96001		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	0円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96001	建設廃材処分費	1.000	m3	3,500	3,500	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻					
	合 計				3,500	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,500	
	*** S単 - 9号 ***					
S02123	建設廃材処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材処分費 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96002		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	0円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96002	建設廃材処分費	1.000	m3	11,000	11,000	
	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ					
	合 計				11,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				11,000	
	*** S単 - 10号 ***					
S02123	建設発生土処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設発生土処分費 土砂			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路（下高隈工区）復旧工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)地域資材単価コード	P96003		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	土砂		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,300円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96003	建設発生土処分費					
	土砂	1.000	m3	1,300	1,300	
	合 計				1,300	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,300	
	*** S単 - 11号 ***					
S08801	【区画線工】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【区画線工】			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	区画線設置,溶融式（手動）,実線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補正なし,,,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	区画線設置		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)規格（区画線設置）	溶融式（手動）				
	3)仕様（区画線設置）	実線				
	4)幅（区画線設置）	15cm				
	5)時間的制約（区画線設置）	なし				
	6)施工区分	昼間施工				
	7)豪雪補正の有無（区画線設置）	豪雪補正なし				
	12)排水性舗装への施工	-				
	13)未供用区間への施工	供用区間施工				
A66051	区画線設置 溶融式（手動） 供用区間 豪雪無 実線15cm 時間的制約無 機・労 昼間単価	1.000	m	197.90	198	
	合 計				198	算出数量 1.000 m
	単 価		m		198	
	*** S単 - 12号 ***					
S08801	【区画線工】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【区画線工】			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	区画線設置,溶融式（手動）,破線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補正なし,,,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	区画線設置		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)規格（区画線設置）	溶融式（手動）				
	3)仕様（区画線設置）	破線				
	4)幅（区画線設置）	15cm				
	5)時間的制約（区画線設置）	なし				
	6)施工区分	昼間施工				
	7)豪雪補正の有無（区画線設置）	豪雪補正なし				
	12)排水性舗装への施工	-				
	13)未供用区間への施工	供用区間施工				
A66063	区画線設置 溶融式（手動） 供用区間 豪雪無 破線15cm 時間的制約無 機・労 昼間単価	1.000	m	219.80	220	
	合 計				220	算出数量 1.000 m
	単 価		m		220	
	*** S単 - 13号 ***					
S15003	耕地復旧(表土掘削・埋戻)[表土掘削費・表土埋戻費]		m ²		1.000 日	歩A 当たり算出
	耕地復旧(表土掘削・埋戻)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	表土埋戻,なし			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)施工区分	表土埋戻		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)長期割引単価区分（賃料機械）	なし		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
F08015	ﾊﾞｯｸﾙ[加ﾗ型・～超低・排対型（～2014）] 標準ﾊﾞｯｸﾙ容量 山積0.8m3（平積0.6m3）	1.370	日	16,800	23,016	
P34029	軽油	78.000	L	159	12,402	
R01021	ﾊﾞﾄﾙ給油					
	運転手（特殊）	1.000	人	30,396	30,396	
	合 計				65,814	算出数量 842.000 m ²
	単 価		m ²		78	

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 14号 ***					
S15004	耕地復旧(耕起)		m ²		100.000	歩A 当たり算出
	耕地復旧(耕起) 有			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)石礫、雑物除去	有		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員					
		0.070	人	21,216	1,485	
M35062	農用トラクタ[乗用・タイヤ型] 四輪駆動 22kw級(30PS)	0.290	時間	2,330	676	
P34029	軽油					
	バトロ給油	0.800	L	159	127	
R01022	運転手(一般)					
		0.060	人	27,846	1,671	
Y00004	諸雑費 14%	0.140		2,474	346	
	合 計				4,305	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		43	
	*** S単 - 15号 ***					
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去		m ²		100.000	歩A 当たり算出
	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	撤去		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)土木安定用材の1㎡当たり単価	155		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員					
		0.320	人	21,216	6,789	
	合 計				6,789	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		68	
	*** S単 - 16号 ***					
SA0101	掘削[撤去時]		m ³		1.000	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	オープンカット				
	3)押土の有無	無し				
	4)障害の有無	無し				
	5)施工数量	5,000m3未満				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単 価		m ³		347.9	
	*** S単 - 17号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m ³		1.000	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)作業内容	土量50,000m3未満				
	単 価		m ³		252.7	
	*** S単 - 18号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m ³		1.000	歩A 当たり算出

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無 5)長期割引単価区分	土砂 標準 無し 無し なし				
	単 価		m3		309.6	
	*** S単 - 19号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,5.0km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.0km以下				
	単 価		m3		2,153	
	*** S単 - 20号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無 し,0.3km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	標準 ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 0.3km以下				
	単 価		m3		415.5	
	*** S単 - 21号 ***					
SA0121	土砂等運搬(処分場)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無 し,5.5km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	標準 ﾊﾞｯｸﾏｼﾞﾝｸﾞ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.5km以下				
	単 価		m3		1,151	
	*** S単 - 22号 ***					
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高隈工区)復旧工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1)施工幅員	4.0m以上				
	2)施工数量	20,000m3未満				
	3)障害の有無	無し				
	4)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		277.9	
	*** S単 - 23号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,6.5km以下,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業	舗装版破碎				
	2)積込工法区分	機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3)DID区間の有無	無し				
	4)運搬距離	6.5km以下				
	単 価		m3		3,205	
	*** S単 - 24号 ***					
SA0222	SP 舗装版破碎		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破碎			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,あり			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)障害等の有無	無し				
	3)騒音振動対策	不要				
	4)舗装版厚	15cm以下				
	5)Co+As(加'-)舗装によるAs舗装	-				
	6)積込作業の有無	有り				
	7)長期割引単価区分	あり				
	単 価		m ²		221.4	
	*** S単 - 25号 ***					
SA0222	SP 舗装版破碎		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破碎			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)障害等の有無	無し				
	3)騒音振動対策	不要				
	4)舗装版厚	15cm以下				
	5)Co+As(加'-)舗装によるAs舗装	-				
	6)積込作業の有無	有り				
	7)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		238.1	
	*** S単 - 26号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	25(20)(高炉B) W/C65%			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	人力打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	-				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				

事業名 笠野原国営施設機能保全事業						
工事名 B幹線水路(下高限工区)復旧工事						
工事別工事名: B幹線水路(下高限工区)復旧工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		35,010	
	*** S単 - 27号 ***					
SA0312	均しコンクリート型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般型枠、均しコンクリート			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	均しコンクリート				
	単 価		m ²		5,003	
	*** S単 - 28号 ***					
SA0831	SP 不陸整正		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 不陸整正			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無し、-, -, なし、			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)補足材料の有無	無し				
	2)補足材料平均厚さ	-				
	3)補足材料	-				
	4)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		135.4	
	*** S単 - 29号 ***					
SA0843	SP 表層(車道・路肩部)		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3.0m超,40mm,アスファルト混合物 (2.35t/m ³),プライムコート 各種,なし,再生密粒度アスコン(13)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)平均幅員	3.0m超				
	2)1層当り平均仕上り厚	40mm				
	3)比重区分	アスファルト混合物 (2.35t/m ³)				
	4)瀝青材料種類	プライムコート 各種				
	5)長期割引単価区分	なし				
	6)材料区分	再生密粒度アスコン(13)				
	単 価		m ³		1,677	
	*** S単 - 30号 ***					
SA0873	SP プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	SP プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	据付,有り,有り,250B 鉄筋コンクリートL形(450×155×600			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)作業区分	据付				
	2)基礎砕石の有無	有り				
	3)L形側溝の有無	有り				
	4)L形側溝の種類	250B 鉄筋コンクリートL形(450×155×600				
	単 価		m		11,830	

[illegible]

[illegible]

令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業
B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事

特別仕様書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和7年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路（下高隈工区）復旧工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、国営笠野原土地改良事業計画に基づきB幹線水路工事に伴う復旧を行うものである。

2. 工事場所

鹿児島県鹿屋市下高隈町地内

3. 工事概要

本工事は、国営笠野原土地改良事業計画に基づきB幹線水路の建設等を行うもので、その概要は次のとおりである。

B幹線水路

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1) 舗装復旧工（アスファルト舗装） | A = 2, 176 m ² |
| 2) 仮廻し道路撤去復旧工 | 2箇所 |
| 3) 耕地復旧工 | A = 4, 471 m ² |
| 4) 付帯工 | 1式 |

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 部分使用

本工事は、工事引渡し前に工事請負契約書第34条により次について部分使用する場合がある。

1) 部分使用範囲

No. 0-7.7～ No. 9+8.5

2) 目的

営農のため

3) 部分使用期間

工事期間中

2. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等14日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、を含んでいる。

3. 施工しない日

原則、土曜日、日曜日及び祝日。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後5時00分から午前8時00分まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 現場技術員の配置

本工事は、共通仕様書第1編第1章1-1-9に規定している現場技術員を配置する。
なお、氏名等については、別に通知する。

6. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者などの確保が図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている44日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和7年5月30日（工事完了期限日）まで

7. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

第4章 現場条件

1. 土 質

本工事の施工場所の土質区分は、図面のとおり想定している。

2. 第三者に対する措置

（1）騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

（2）保安対策

- 1）本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習または、基本教育及び業務別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。
- 2）交通誘導警備員については、下表のとおりとするが、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	班編成	昼夜別	交代要員の有無
農道東原杉堀線 南北施工始終点付近	各1名／日	1班	昼間	無し
農道東原東西2号線 東西施工始終点付近	各1名／日	1班	昼間	無し

（3）安全対策

工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

（4）交通対策

農道東原東西2号線については、施工時期に限り、適切な迂回路表示を行い事前の周知を行わなければならない。

また、施工期間中に施工区間以外の道路を損傷、もしくは汚損した場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。

（5）営農対策

工事施工に当たって、周辺の農地では営農が行われているため、支障が生じないように努めなければならない。

(6) 防塵対策

防塵対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。なお、現地状況等により対策が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 建設発生土受入地

建設発生土受入地は、図面に示す箇所とし、その名称、搬出予定量は次のとおりである。

名 称	地 先 名	搬出予定量	摘 要
エトウ土捨て場受入地	鹿屋市串良町細山田	607m ³	土砂

2. 工事用地

資材等を一次仮置きする場合は、発注者が確保している工事用地を仮置場として使用することができる。

第6章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

- (1) 発注者が確保している工事用地及び工事施工上必要な用地範囲（以下、「工事用地等」という。）を別添図面に示す。

借地用途	借地範囲	借用期間
仮廻し道路及び耕地復旧	借地範囲図に示す範囲	令和7年4月1日～令和7年5月31日

2. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 発注者が確保している工事用地等については、工事施工に先立ち、関係地権者及び監督職員の立会のうえ、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。
- (2) 工事用地の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な措置を講じた後、監督職員及び関係地権者の立会のもとに確認を受けなければならない。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) コンクリート

コンクリートは、レディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種 類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の最 大寸法 (mm)	水セメント 比 W/C (%)	セメントの 種類による 記号	使用目的
無筋コンクリート	18	8	25(20)	65 以下	BB	張コンクリート

(2) アスファルト混合物

- 1) 再生加熱アスファルト混合材 JIS K 2207 再生密粒度アスファルト混合物(13)
- 2) アスファルト乳剤 JIS K 2208 PK-3、PK-4

(3) コンクリート二次製品

- 1) 鉄筋コンクリートL型側溝 JIS A 5372 250 B

(4) その他

- 1) 区画線 JIS K 5665 路面標示用塗料

(5) 木材

受注者は、設計図書に木材の使用について指定されている場合はこれに従うものとし、任意仮設等においても木材利用の促進に留意しなければならない。

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。ただし、管材の検査報告書又は受検証明書は、検査後に提出するものとする。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
コ ン ク リ ー ト	試験成績書、配合表
コ ン ク リ ー ト 二 次 製 品	試験成績書、カタログ
ア ス フ ァ ル ト	試験成績書、配合表
そ の 他 材 料	カタログ又は試験成績書等

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材料名	検査・試験項目	備考
コンクリート二次製品	寸法・外観	抽出検査

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点及び水準点は、図面に示す KBM. 1:EL133. 837m、KBM. 2:EL133. 101m、KBM. 3: 133. 363m 及び平面縦断面図に示す基準点及び水準点を確認のうえ使用しなければならない。

なお、基準点等の位置データは、測地成果 2000 に対応したものである。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

- 1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

- 2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期・頻度	遠隔確認対象	備考
舗装工（不陸整正）	現況との擦付状況	不陸整正初期段階	—	

(3) 舗装切断に伴う排水等の処理

舗装切断作業に伴い発生する排水又は切削粉は、直接、現場外に排出することがないように回収し、産業廃棄物として適正に処理するものとする。

2. 再生資源等の利用

(1) 再生資材の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合材	再生密粒度アスファルト混合物(13)	道路表層工
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	構造物基礎材

なお、舗装材に使用する場合には「舗装再生便覧」（（社）日本道路協会発行）等を遵守する。

(2) 建設資材廃棄物等の現場内利用

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等は、次のとおり本現場内で利用するものとする。

- 1) 仮廻し道路の路盤材の砕石については、L型側溝工の基礎材として利用する。
- 2) その他の建設廃棄物等

受注者は、本工事の施工に伴い発生するその他の建設資材廃棄物も、その利用方法等について監督職員と協議しなければならない。

なお、分別の徹底及び、適切な保管を行うものとする。

3. 建設資材等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物	処理施設名	住 所	受入時間	事業区分
アスファルト殻	(有)浜田産業	鹿児島県鹿屋市下高隈町 5927-2	8:00～17:00	中間処分業者
廃プラスチック類 (土木シート)	(有)マカケ	鹿児島県鹿屋市串良町細 山田 2917-2	8:00～17:00	中間処分業者

4. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの 作業内容及び 解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (アスファルト塊、コンクリート塊)	その他の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 ■手作業・機械作業の併用

■が該当する部分である。

5. 土工

(1) 掘削

1) 掘削

①仮廻し道路掘削の際に発生する路盤材は、復旧時に流用する材料以外は、建設発生土受入地へ搬出するものとする。

②掘削土は、埋戻し用土に流用するものは工事用地へ搬出し、基盤土として利用できない土砂は、建設発生土受入地へ搬出しなければならない。

(2) 埋戻し

1) 基盤埋戻し

基盤埋戻しの埋戻し用土は、工事用地に仮置きしてある現地土若しくは仮廻し道路の掘削の際に発生する土砂を使用するものとする。

また、埋戻しは基盤として支障がない程度に適切な転圧機械で埋戻しを行うものとする。

2) 表土埋戻し

表土埋戻しは、基盤復旧後に工事用地に仮置きしている表土を用い埋戻しを行うものとし、表土厚は20cm程度を想定している。

表土には、他の土砂が混入しないようにしなければならない。

なお、表土の埋戻し後に監督職員、地権者等の立会を得て、表土厚さの確認を行い、その結果を監督職員に提出しなければならない。

6. 舗装復旧工

(1) アスファルト舗装工

- 1) マーシャル試験の試験方法は、舗装の構造に関する技術基準同解説によるものとする。
- 2) 表層工の施工に当たっては、プライムコート（アスファルト乳剤PK-3）120 ㏍/100m² 以上を路盤面に均一に散布し、路盤との密着を図らなければならない。
また、既設舗装面との擦り付け舗装（オーバーレイ）を行う場合は、タックコート（アスファルト乳剤PK-4）40 ㏍/100m² 以上とする。
- 3) 表層工は、施工条件に合った機械により、再生加熱アスファルト混合物を敷均し、施工条件に合った機種で締固めをしなければならない。
- 4) 乳剤散布に先立ち、上層路盤面の不陸整正を行うものとし、路盤材が不足する場合は監督職員と協議するものとする。

(2) 区画線

施工に当たっては、事前に道路面を十分に清掃した後に施工するものとする。

(3) L形側溝工

基礎碎石は、仮廻し道路の路盤材の碎石を再利用するものとする。

7. 耕地復旧工

表土の埋戻しを行い、トラクター等により2回掛けの耕起を行わなければならない。
また、石礫除去を行うものとする。

8. 仮廻し道路及び仮設ヤード撤去工

仮廻し道路及び仮置ヤードとして使用した工事用地は、表土剥ぎ取り後の基盤面に、土木シートを設置しシラスを利用し盛土を行っていることから、撤去に際しては耕地内に土木シート等を残さないよう適切に撤去するものとする。

第10章 再生資源利用計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第11章 再生資源利用促進計画

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第12章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

(1) 施工管理基準からの除外項目

施工管理基準に定めている次の項目については、適用除外とする。

- 1) 土木工事施工管理基準の「別表第3品質管理、2土質関係、道路工」
- (2) 工事現場等における遠隔確認について
 - 1) 本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者が動画撮影用カメラにより撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。
 - 2) 遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する実施要領」によるものとする。
 - 3) 農林水産省が推奨する Web 会議システムは、「T e a m s」である。
 - 4) 通信環境が整わない現場や遠隔確認が非効率となる場合も想定されることから、受発注者の協議により遠隔確認の適用・不適用を決定するものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、（1）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」）及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は、納品時に URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第13章 天災その他不可抗力

天災その他の不可抗力による損害は、請負契約書第30条によるものとするが、受注者の善良な管理のもとにおいて、被害が生じた場合のみ、その損害額の負担については、発注者と受注者の協議によって定めるものとする。

第 14 章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- (1) 土質
- (2) 転石の出現
- (3) 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
- (4) 湧水等の出現
- (5) 関係機関との協議
- (6) 国営笠野原土地改良事業施設の漏水等
- (7) その他

第 15 章 その他

1. 契約後 V E 提案

(1) 定義

「V E 提案」とは工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) V E 提案の意義及び範囲

- 1) V E 提案の範囲は設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は V E 提案の範囲に含めないものとする。
 - ① 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ② 工事請負契約書第 18 条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の 提案
 - ③ 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) V E 提案書の提出

- 1) 受注者は（2）の V E 提案を行う場合、次に掲げる事項を V E 提案書（共通仕様書 様式 6－1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ① 設計図書に定める内容と V E 提案の内容の対比及び提案理由
 - ② V E 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③ V E 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤ 工業所有権を含む V E 提案である場合、その取扱に関する事項
 - ⑥ その他 V E 提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は提出された V E 提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は V E 提案を契約締結の日より、当該 V E 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) V E 提案の適否等

- 1) 発注者は V E 提案の採否について、原則として、V E 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書 様式 6－5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、V E 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) V E 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。

- 5) 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する額（以下「VE管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記6)のVE管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) VE提案書の使用

発注者はVE提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者がVE提案を適正と認め設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部

3. 配置予定主任技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

4. ワンデーレスポンスに関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前中に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

- (1) 工事円滑化会議（工事契約後）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注者幹部に、設計の考え方、発注者工事工程表、施工条件等を説明し、共有を図るものとする。なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

（２）工事円滑化会議（工事着手後）

工事着手時及び新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、総括監督員、主任監督員及び監督員が、現場条件、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

（３）設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

（４）建設コンサルタントの出席

上記（１）、（２）及び（３）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の通信交通費含まれるものと考えており、開催回数に関わらず契約変更の対象としない。

（５）工事円滑化会議及び設計変更確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式－４２）に記録し、相互に確認するものとする。

6. 現場環境改善費

（１）現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから１内容以上選択し合計５つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

（２）以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

（３）受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表

	⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献
--	--

7. 週休2日による施工

- （1）本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）及び現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。

なお、受注者の責によらない現場条件、気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

- （2）「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、ここでいう対象期間及び現場閉所の具体的な内容は次のとおりである。

- ①対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏期休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- ②現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検、巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- ③降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- （3）週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - ①受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
 - ②受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。
なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
 - ③監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
 - ④監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
 - ⑤報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。
- （4）監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- （5）発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）及び現場管理費（率分）を補正する。

① 補正係数

	4週8休以上 〔 現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上 〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02
現場管理費（率分）	1.05

② 補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①の示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評 定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14 地第759 号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

- (6) 週休2日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価による積算に当たっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
区画線工		1.02

8. 週休2日制の促進

- (1) 本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- (2) 発注者は、現場閉所状況が月単位で4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定の合計は100点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評定の点数を10点減ずることとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。
- ① 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- ② 現場閉所による月単位の週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、月単位の週休2日に満たない場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
- ☐ その他〔理由：現場閉所による月単位の週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
- ☐ その他〔理由：現場閉所による月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- ③ 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加点評価する。

○事業（務）所長

- ☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

9. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

- (1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。
- (2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

10. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

11. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

12. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等

- (1) 工事で使用する資材等の納期への影響に対する対応について
受注者は、新型コロナウイルス感染症に伴い、工事で使用する資材、機材及び機器類の納期に影響が生じ、工期内に工事が完成できないと判断される場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 感染拡大防止対策にかかる費用の計上
受注者は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために次のような対策を実施する場合は、監督職員と協議するものとし、必要と認められた対策については、施工計画書に記載して確実に履行しなければならない。
 - 1) 現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用
 - 2) 現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用
 - 3) 遠隔確認やテレビ会議等のための機材・通信費
 - 4) その他、感染拡大防止のために必要と認められる費用

13. 災害発生時における緊急応急工事の試行

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所（以下、「事務所」という。）では、笠野原国営施設機能保全事業で改修または改修予定の施設（以下、「国営造成施設」という。）において、被災または被災の恐れがあると事務所災害対策本部が判断した場合、被害の拡大または災害の発生を未然に防止するため、緊急的な応急工事（以下、「緊急応急工事」という。）を行うこととする。

なお、この事案が発生した場合は監督職員と協議するものとする。

14. 建設副産物の取扱に係る補足

共通仕様書1-1-22建設副産物の記載について、以下のとおり補足する。

- (1) 受領書の交付
受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。
- (2) 再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等
受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土砂の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壤汚染対策法等の手続き

状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見えやすい場所に掲げなければならない。

(3) 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と（2）再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等で行った確認結果を委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

(4) 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

第16章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は、本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所長
漆畑 貴俊 様

住所
商号又は名称
氏名

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業 B 幹線水路（下高隈工区）復旧工事
工 事 場 所	鹿児島県鹿屋市下高隈町地内
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工事の始期 から 令和 年 月 日 まで （ 日間）

※契約の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

令和7年度

笠野原国営施設機能保全事業

B幹線水路（下高隈工区）復旧工事

工 事 数 量 表
【当初】

九州農政局

南部九州土地改良調査管理事務所

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 舗装復旧工				
(1) 舗装準備工				
1) 不陸整正		m ²	2,176	
(2) アスファルト舗装工				
1) 表層 (車道・路肩部)	t=4cm	m ²	2,176	
(3) 付帯施設工				
1) 区画線工	B=15cm, 白, 実線 t=1.0mm	m	940	
2) 区画線工	B=15cm, 白, 破線1.0m, t=1.0mm	m	5.0	
3) L型側溝	新設, 250B	m	60.4	
2. 仮廻し道路撤去復旧工				
(1) 仮廻し道路撤去復旧工	仮廻し道路工① (農道東原杉堀線)			
1) 安定シート撤去工	980N/5cm以上	m ²	578	
2) 舗装版破砕	t=15cm以下	m ²	621	
3) 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	アスファルト殻, L=4.0km	m ³	25	
4) 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	廃プラスチック, L=4.6km	m ³	2.3	
(2) 仮廻し道路撤去復旧工	仮廻し道路工② (県道下高隈川東線)			
1) 安定シート撤去工	980N/5cm以上	m ²	351	
2) 舗装版破砕	t=15cm以下	m ²	428	
3) 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	アスファルト殻, L=4.0km	m ³	21	
4) 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	廃プラスチック, L=4.6km	m ³	1.4	
(3) 仮廻し道路撤去復旧工	土工			
1) 掘削	土砂	式	1	
2) 盛土	[粘性土(流用)]	式	1	
3) 流用土運搬	仮置場→現場	式	1	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
4)残土処理		式	1	建設発生土受入地へ運搬
(4)法面復旧工				
1)法面復旧工	ワラ芝工 W=1.00	m ²	121	
3. 仮設ヤード撤去復旧工				
(1)仮設ヤード撤去工				
1)安定シート撤去工	980N/5cm以上	m ²	1,922	
2)仮設ヤード撤去工	撤去, t=20cm	m ³	385	建設発生土受入地へ運搬
3)殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ, L=4.6km	m ³	7.7	
(2)耕地復旧工				
1)表土埋戻	t=20cm	m ²	3,373	
2)耕地復旧	t=20cm	m ²	4,471	
4. 付帯工				
(1)制水弁付帯工				
1)張りコンクリート工	18N-8-25(20)	m ³	0.1	
2)型枠工		式	1	
5. 仮設工				
(1)安全費				
1)交通誘導警備員		人	8	

令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業

B幹線水路（下高隈工区）復旧工事

契約図面

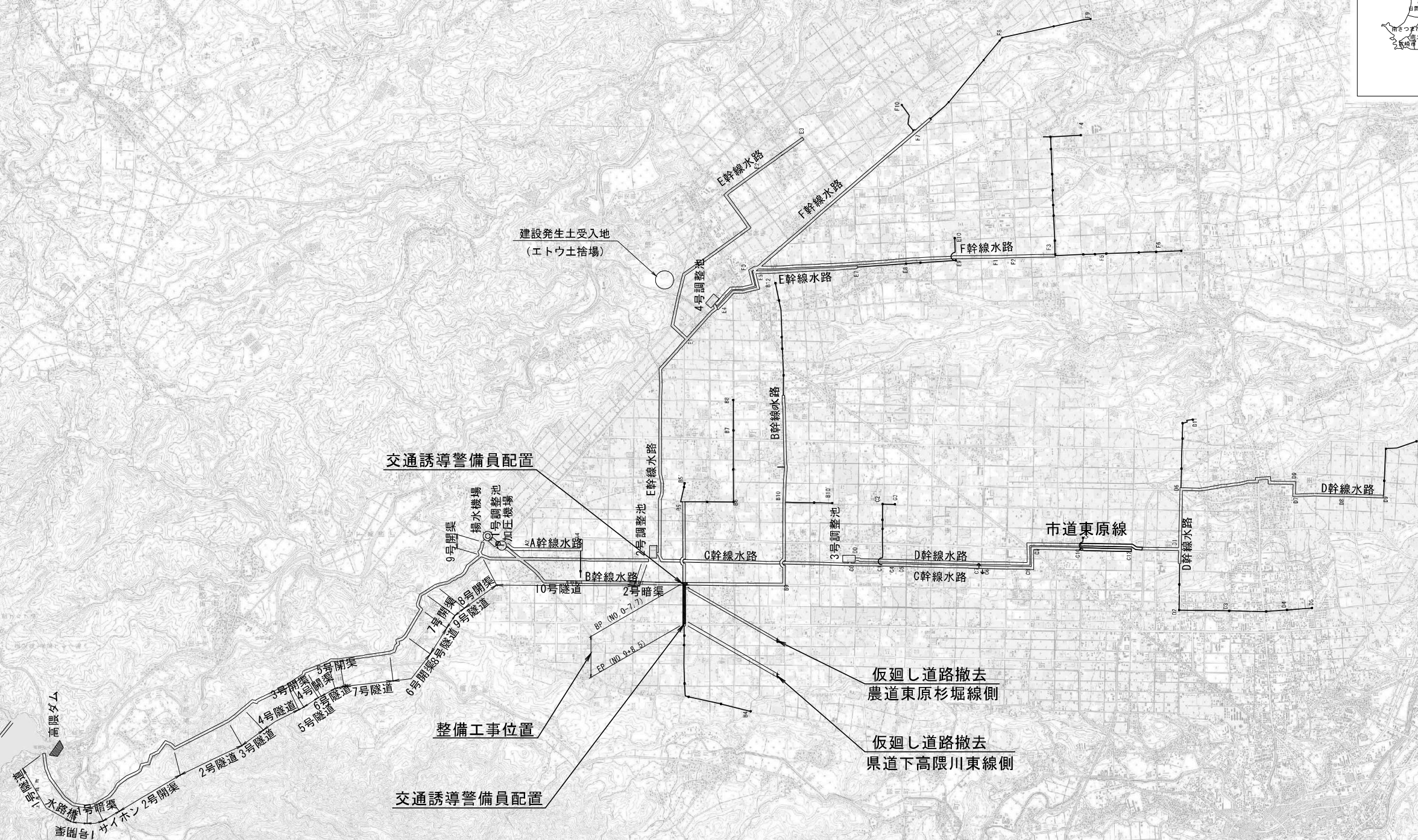
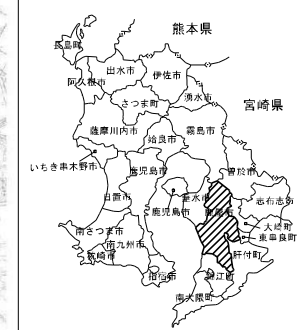
【縮小図面】

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路（下高隈工区）復旧工事			
図 面 目 録			
図面番号	名 称	枚 数	備 考
1	位 置 図	1	
2	復 旧 図	2	
3	仮 廻 し 道 路 撤 去 復 旧 図	2	
4	耕 地 復 旧 図	1	
5	4 号 制 水 弁 室 付 帯 工 図	1	
計		7	



位置図



工 事 名	令和7年度笠野原園宮施設機能保全事業 B幹線水路（下高隈工区）復旧工事		
図 面 名	位 置 図		
年 月 日			
縮 尺	S=1:25000	図面番号	1
会 社 名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務		

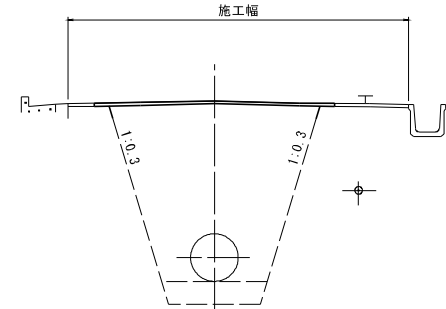
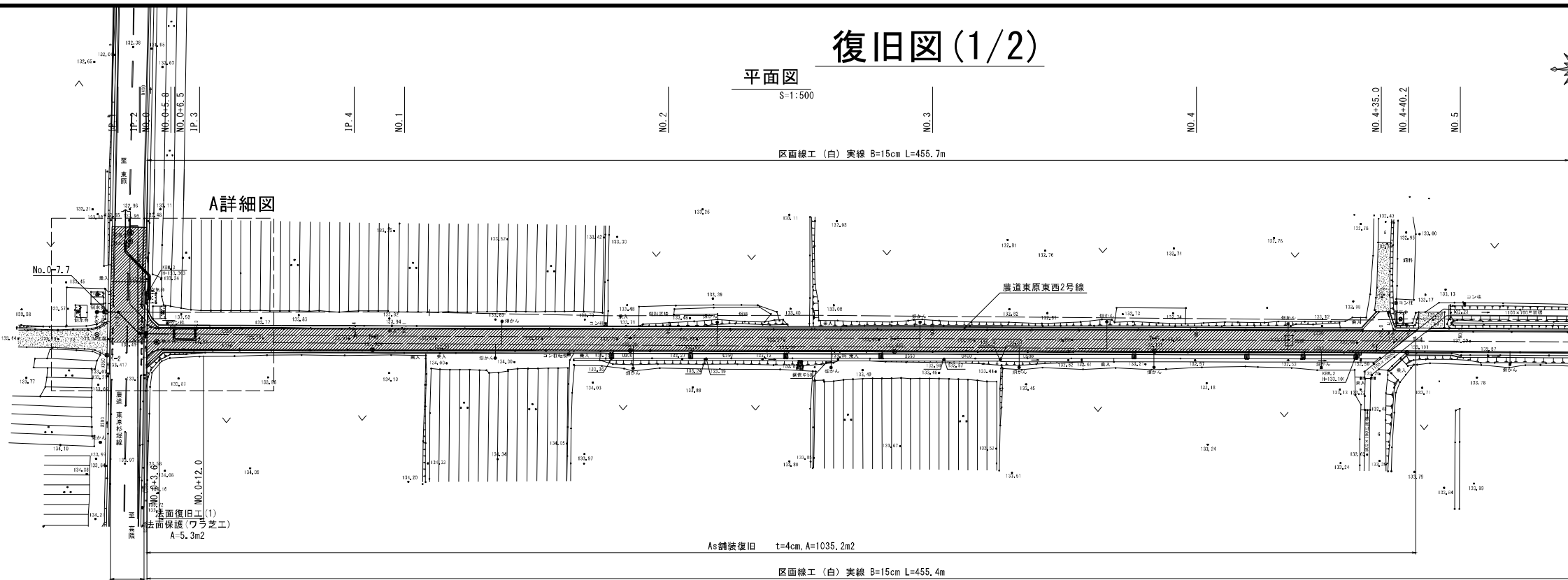
復旧図(1/2)

平面図
S=1:500

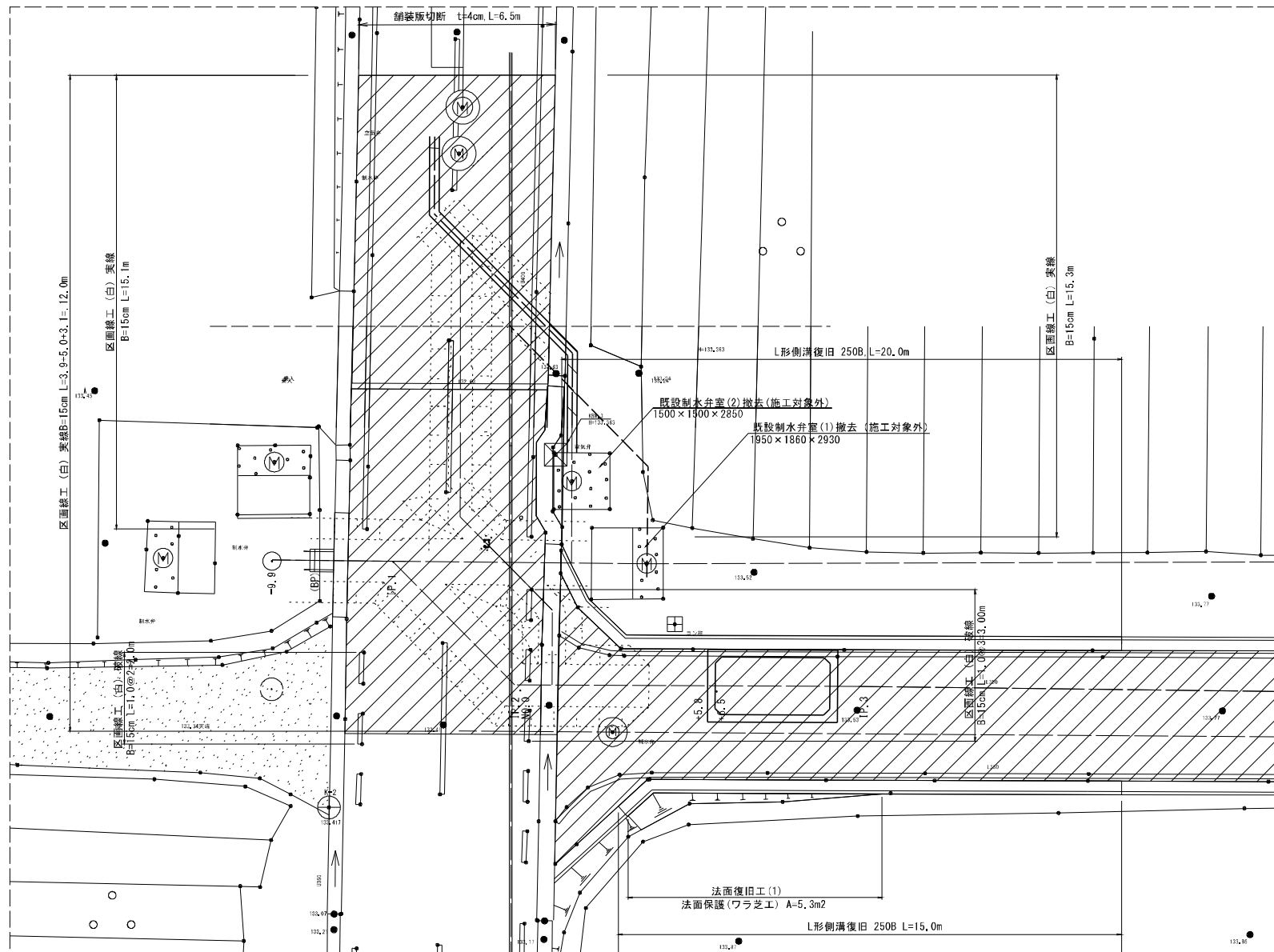


舗装復旧詳細図

S=1:50



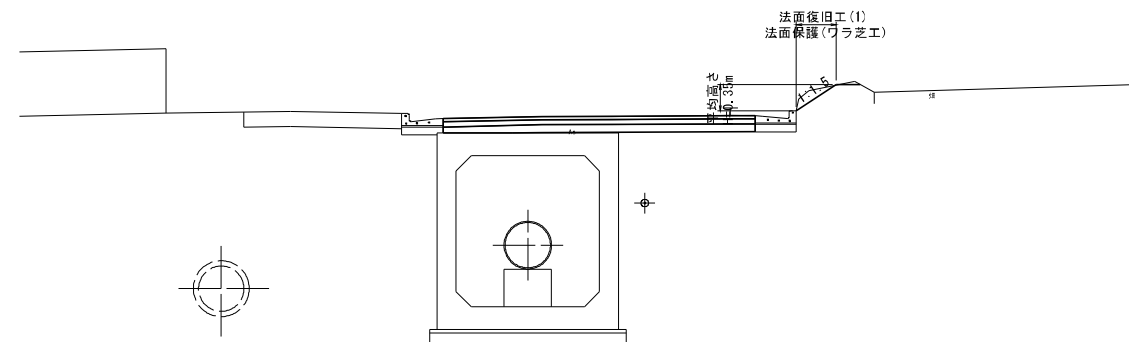
A詳細図 S=1:100



法面復旧断面図

S=1:50

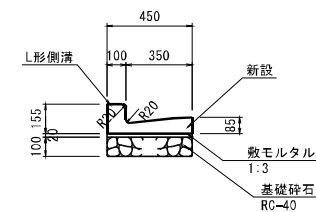
(法面復旧工(1))



L形側溝復旧

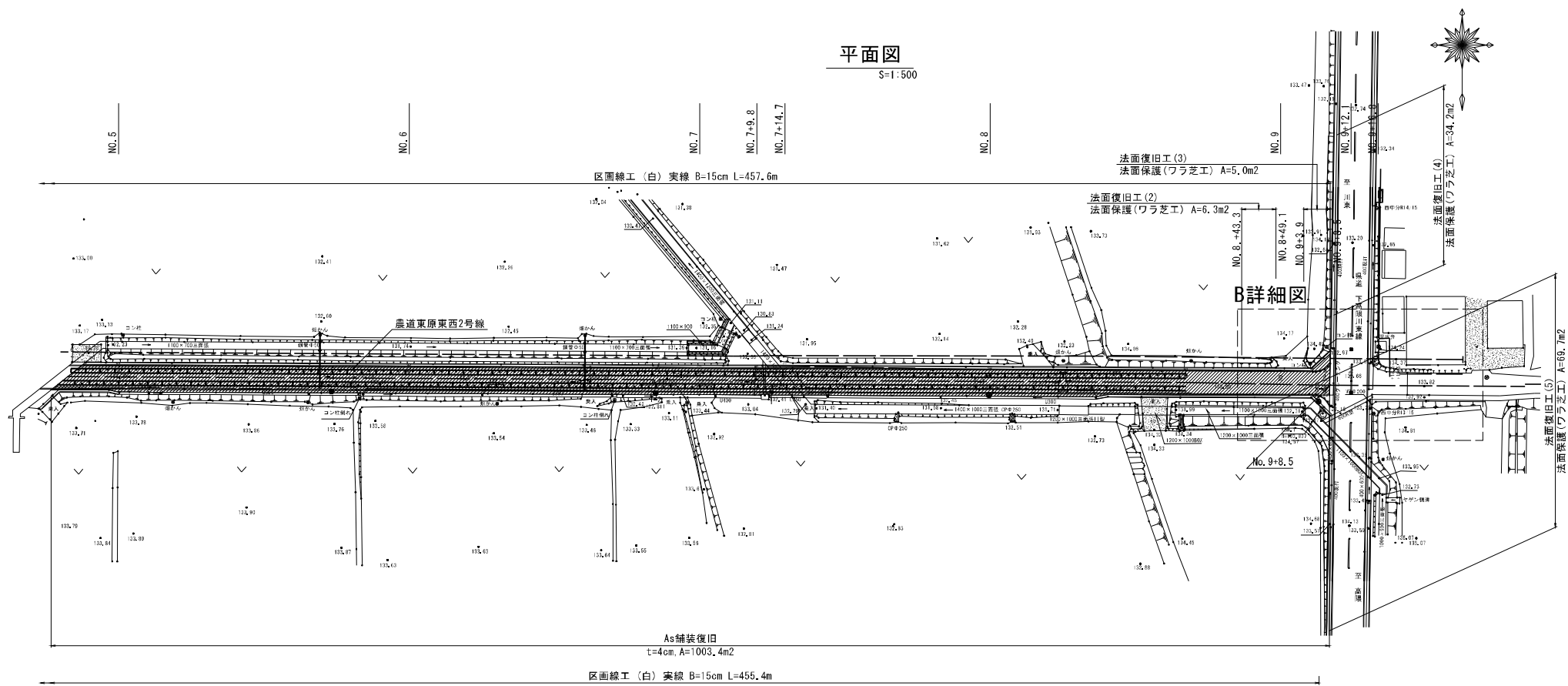
250B

S=1:20



工事名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事		
図面名	復旧図(1/2)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	2-1/2
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

復旧図 (2/2)



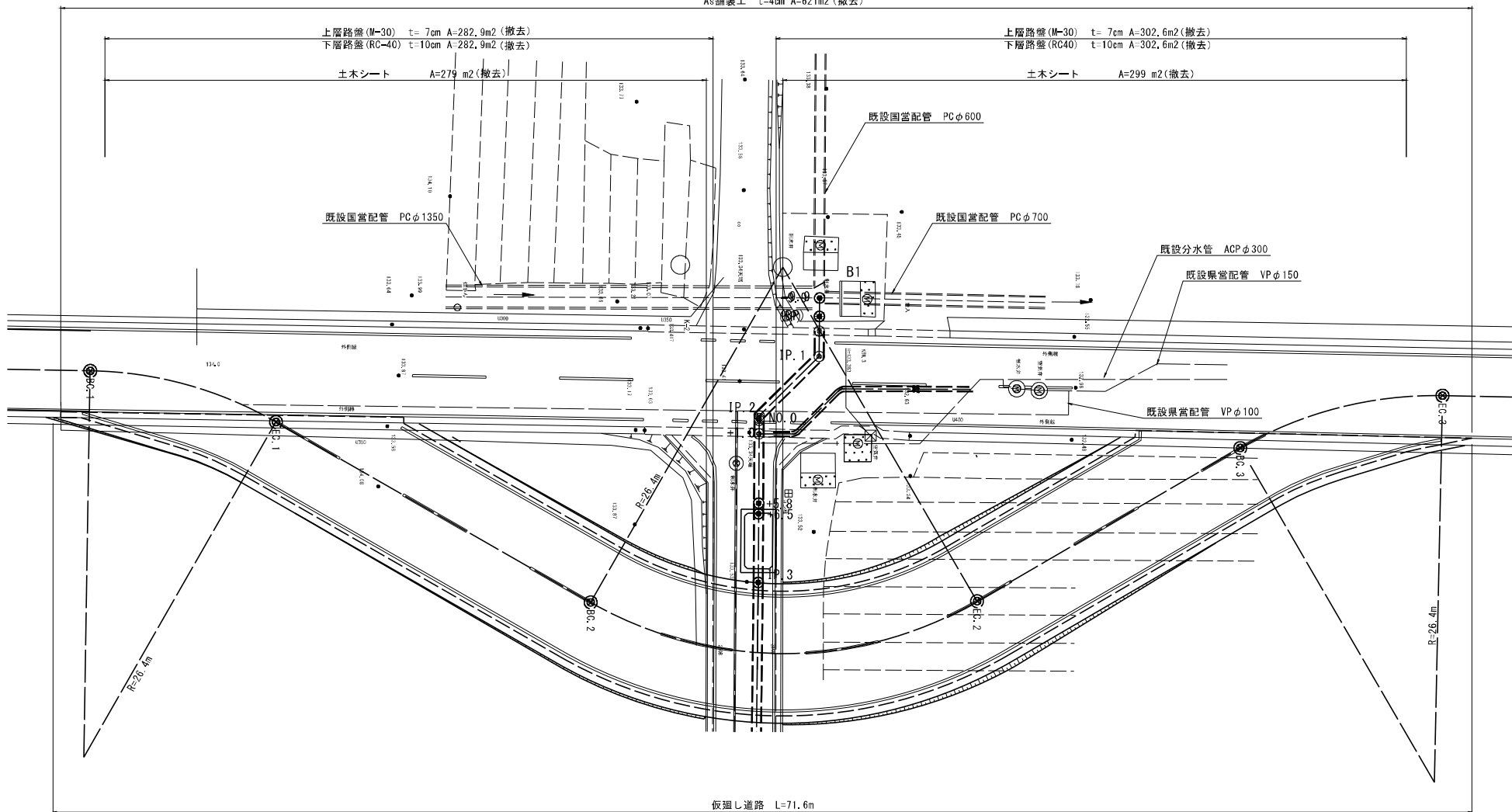
仮廻し道路撤去復旧図(1/2)

(農道東原杉堀線側)

平面図

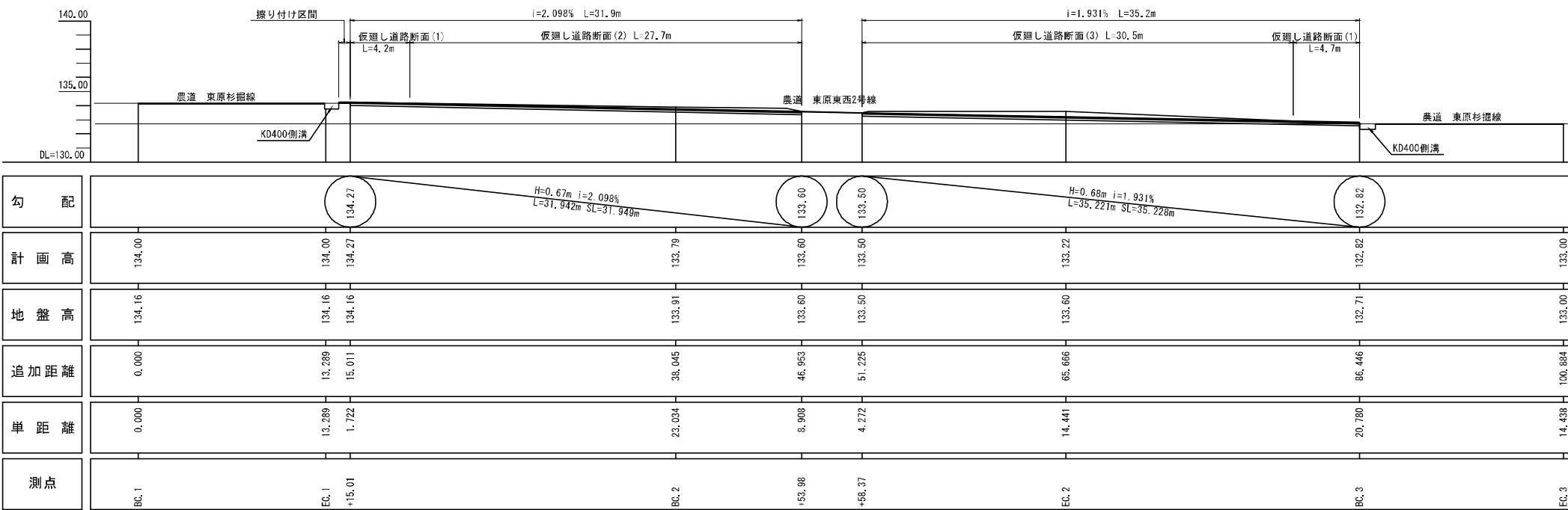
S=1:200

As舗装工 t=4cm A=621m2 (撤去)



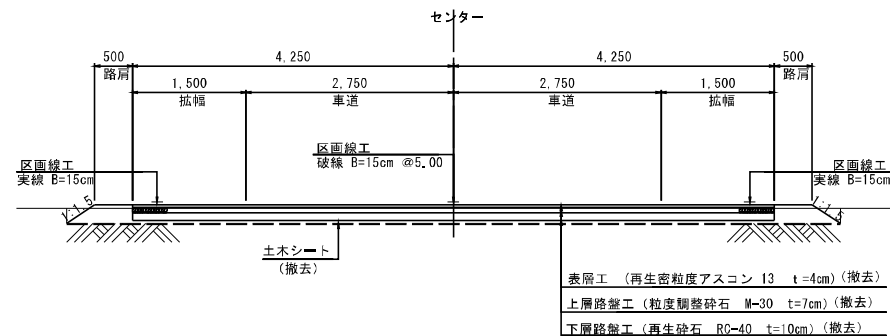
縦断面図

S=1:200



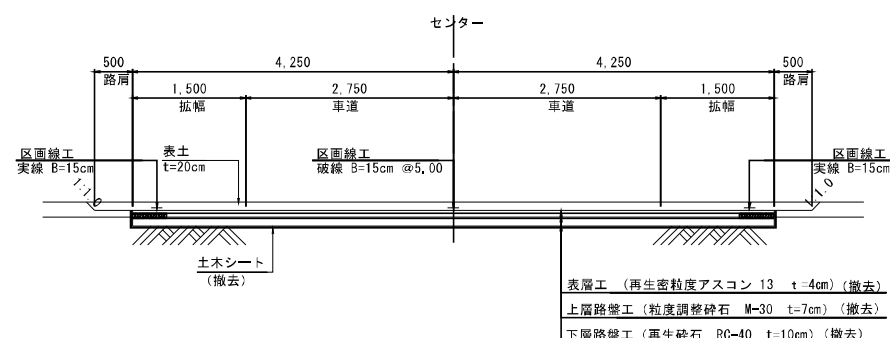
仮廻し道路断面図(1)

S=1:50



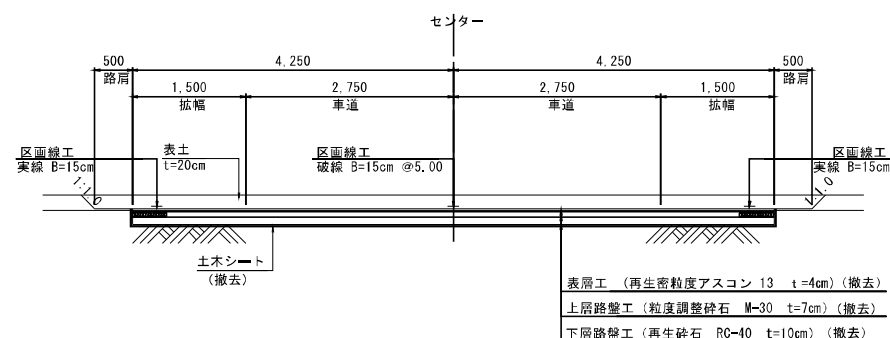
仮廻し道路断面図(2)

S=1:50



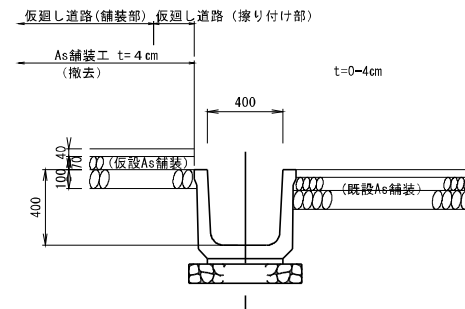
仮廻し道路断面図(3)

S=1:50



擦り付け部詳細図

S=1:20



工事名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業		
図面名	仮廻し道路撤去復旧図(1/2)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3-1/2
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

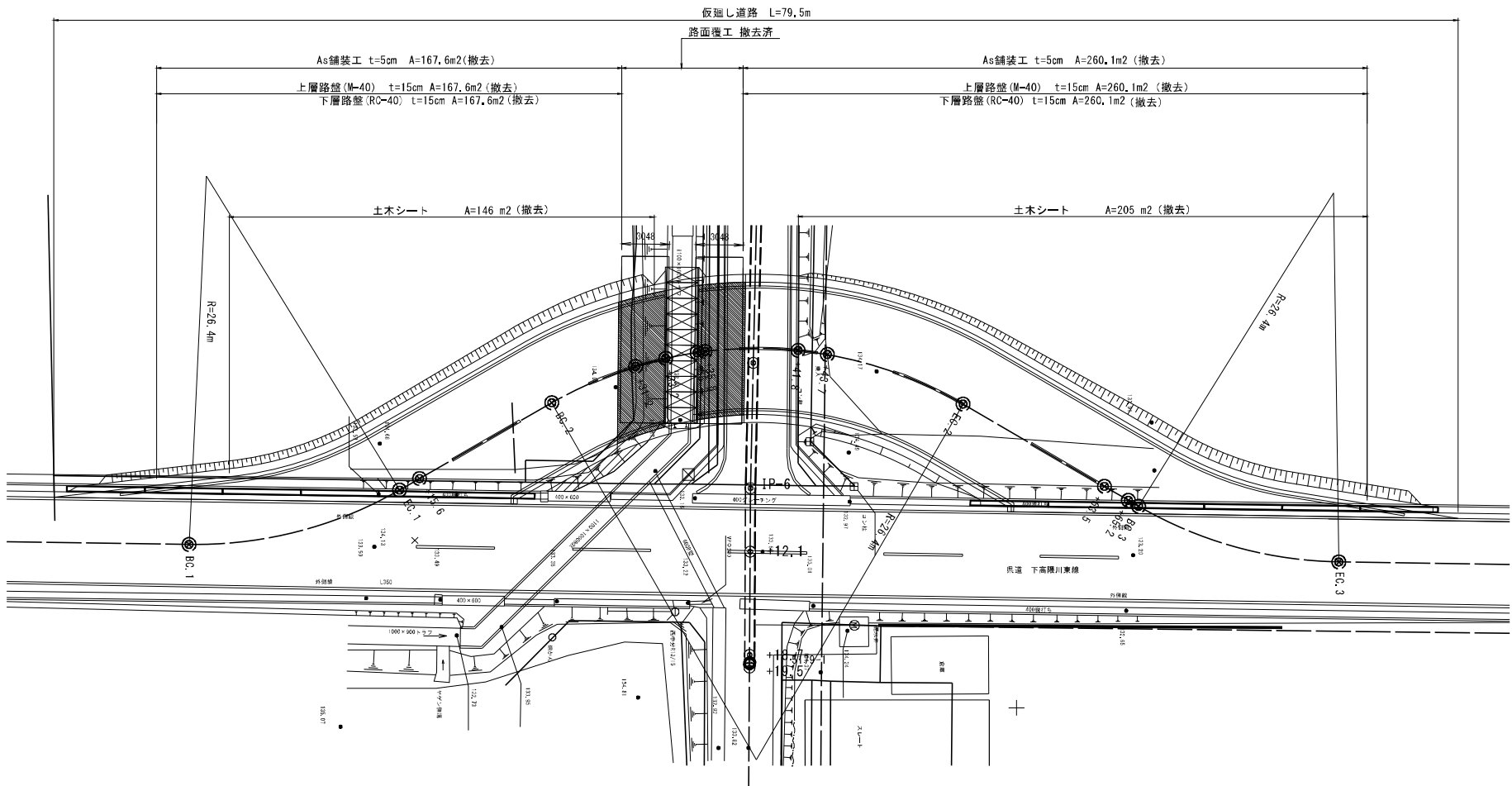
仮廻し道路撤去復旧図(2/2)

S=1:200

(県道下高隈川東線側)

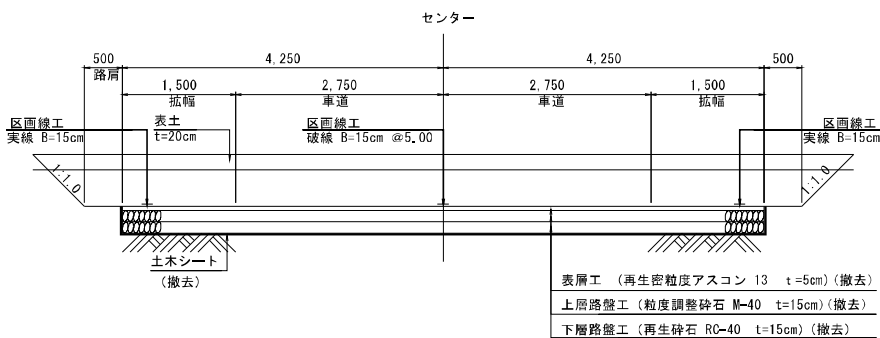
平面図

S=1:200



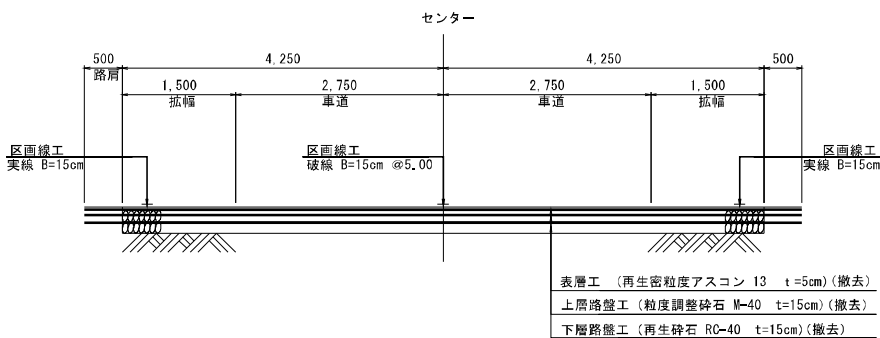
仮廻し道路断面図(1)

S=1:50



仮廻し道路断面図(2)

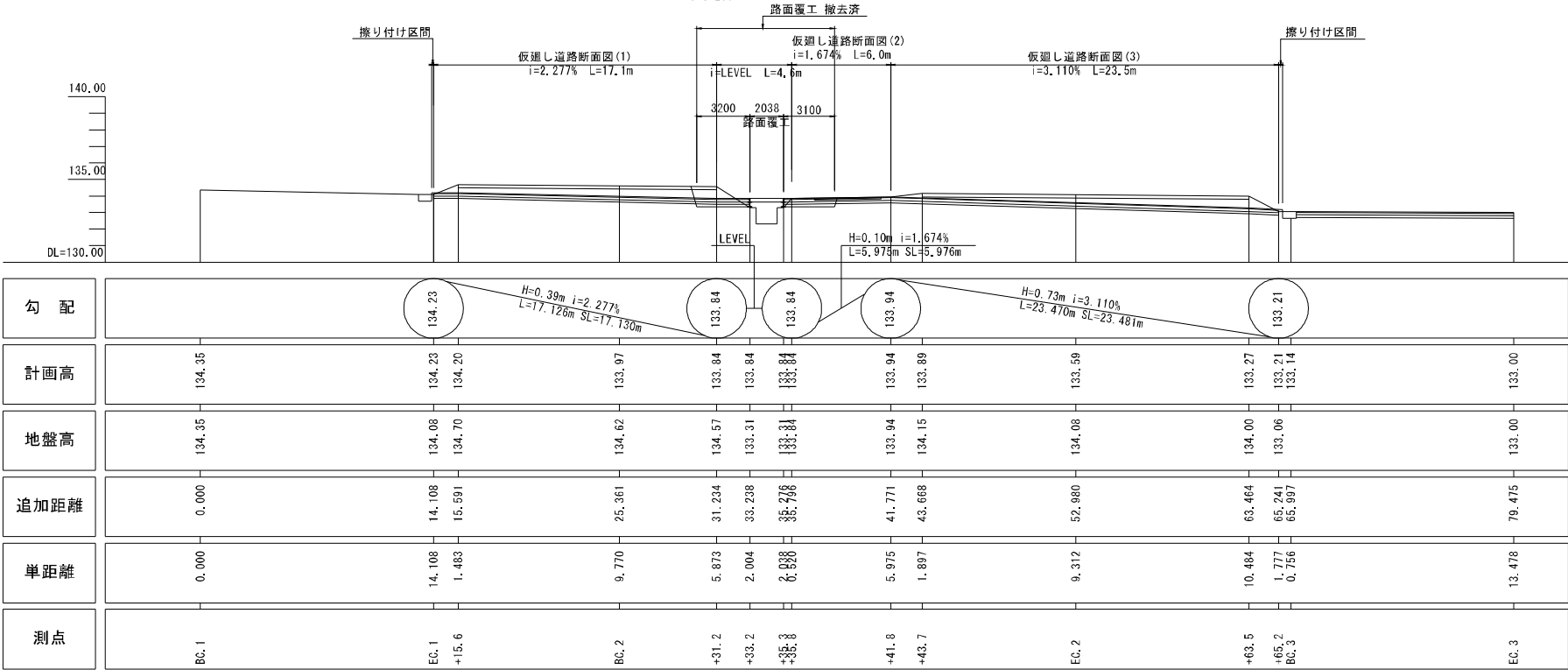
S=1:50



※各路線の舗装構成を保持するため、仮廻し道路にて設置した路盤は撤去する。

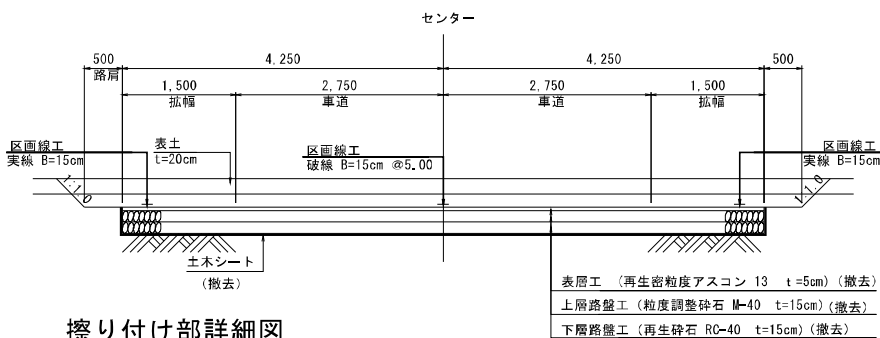
縦断面図

S=1:200



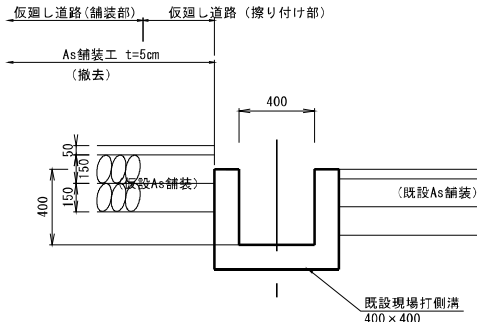
仮廻し道路断面図(3)

S=1:50



擦り付け部詳細図

S=1:20

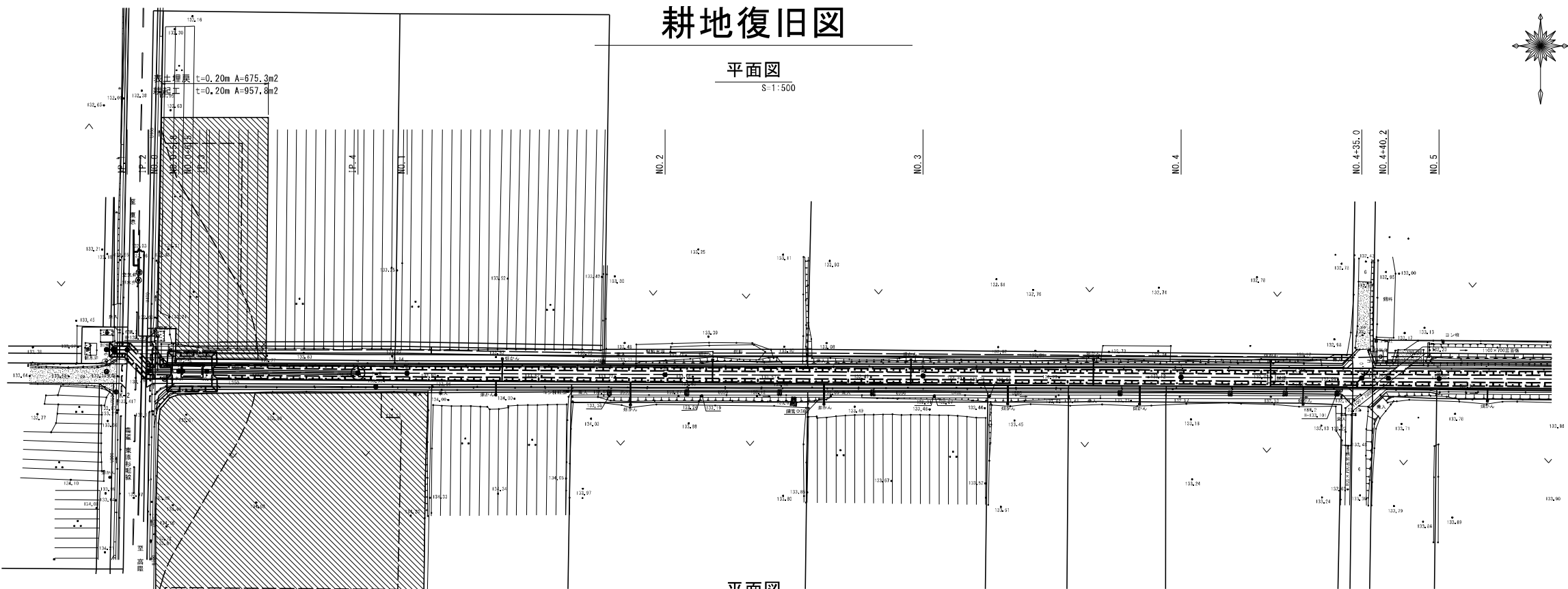


工事名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業		
図面名	B幹線水路(下高隈工区)復旧工事		
年月日	仮廻し道路撤去復旧図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	3-2/2
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

耕地復旧図

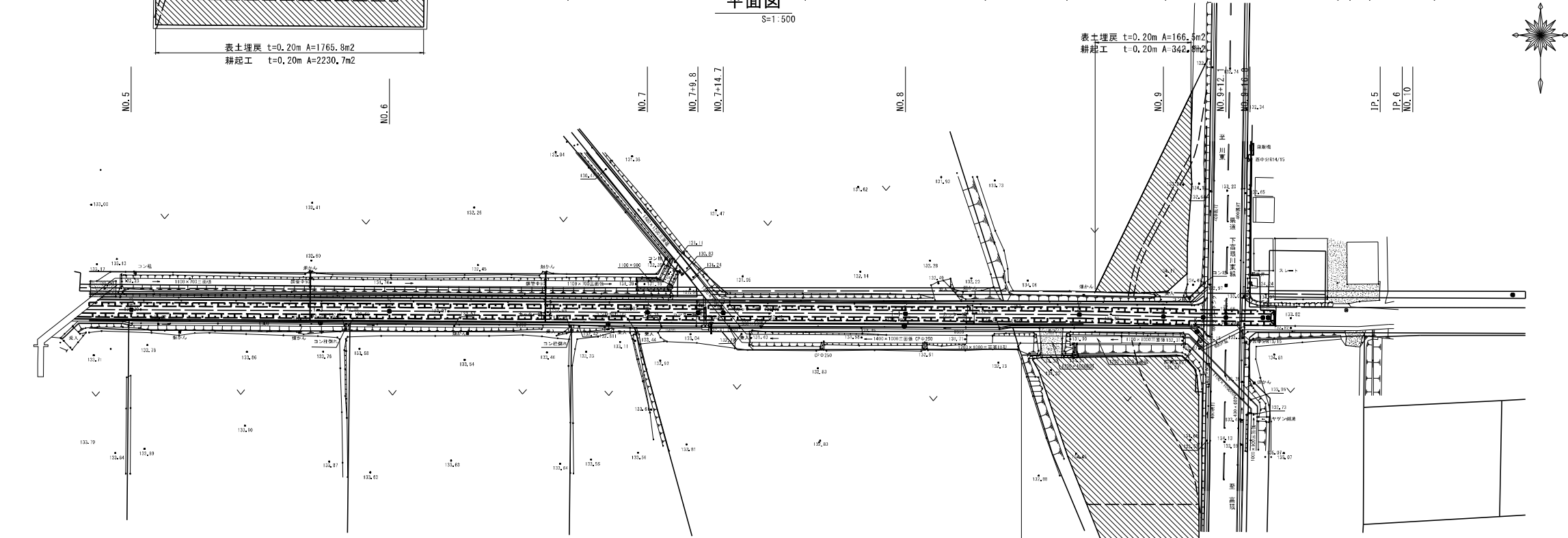
平面図

S=1:500

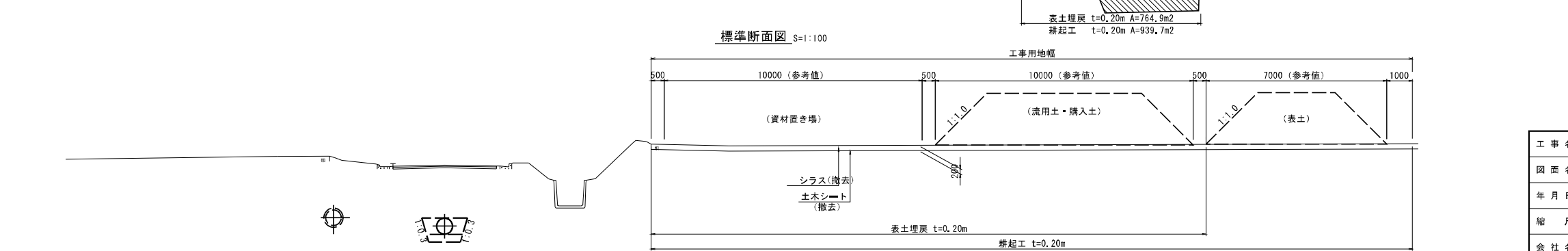


平面図

S=1:500



標準断面図 S=1:100



EL=130.00

：工事用地

工事名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業		
図面名	耕地復旧図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	4
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

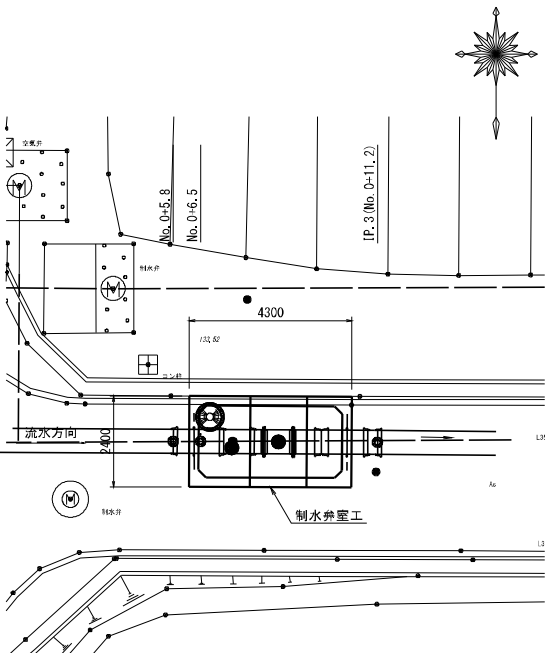
注1) 工事用地は、用地境界面積であり、耕作面積は現地測量平面図より算出

4号制水弁室付帯工図

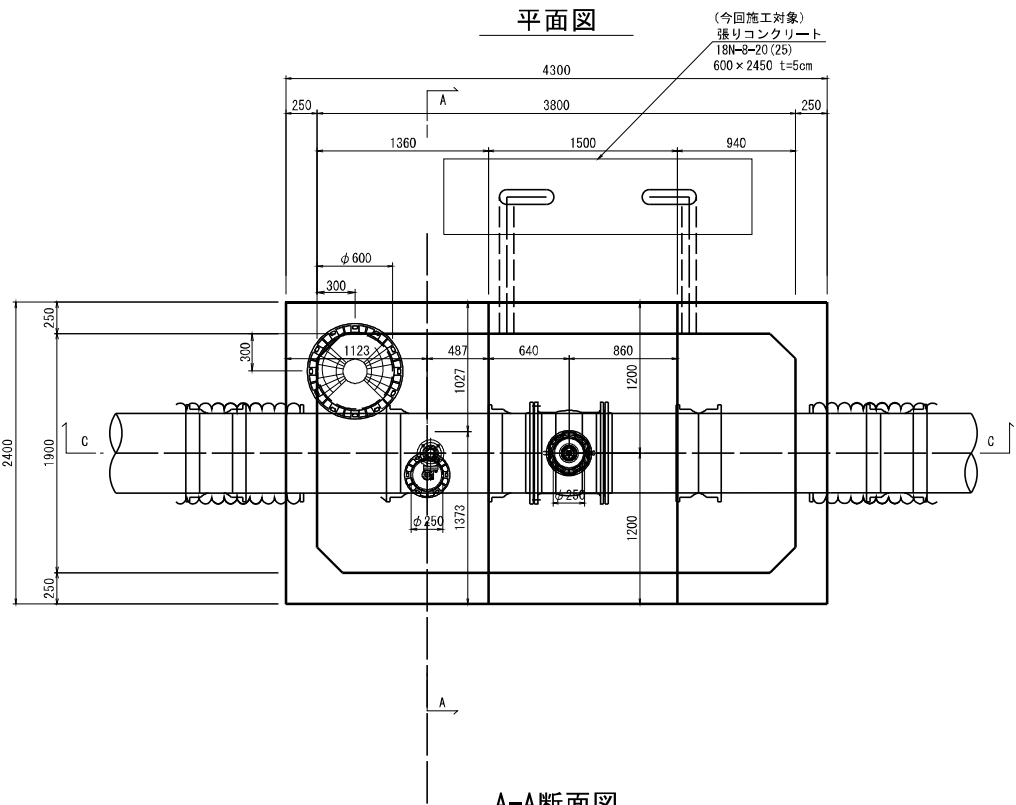
S=1:30

No. 0+6.50 DCIP ϕ 600

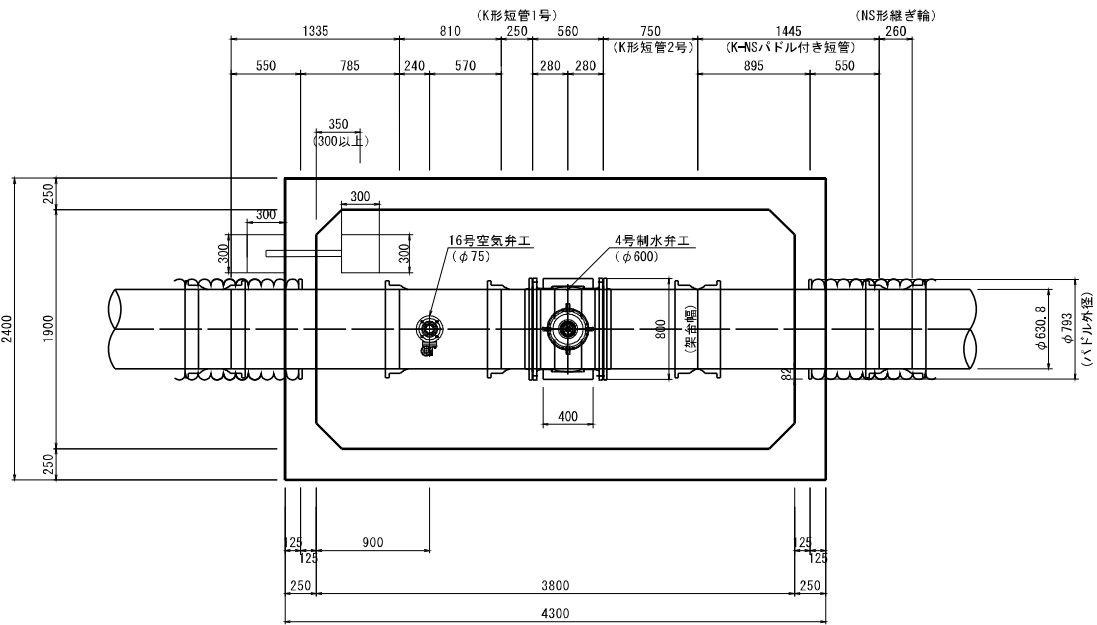
位置図 S=1:100



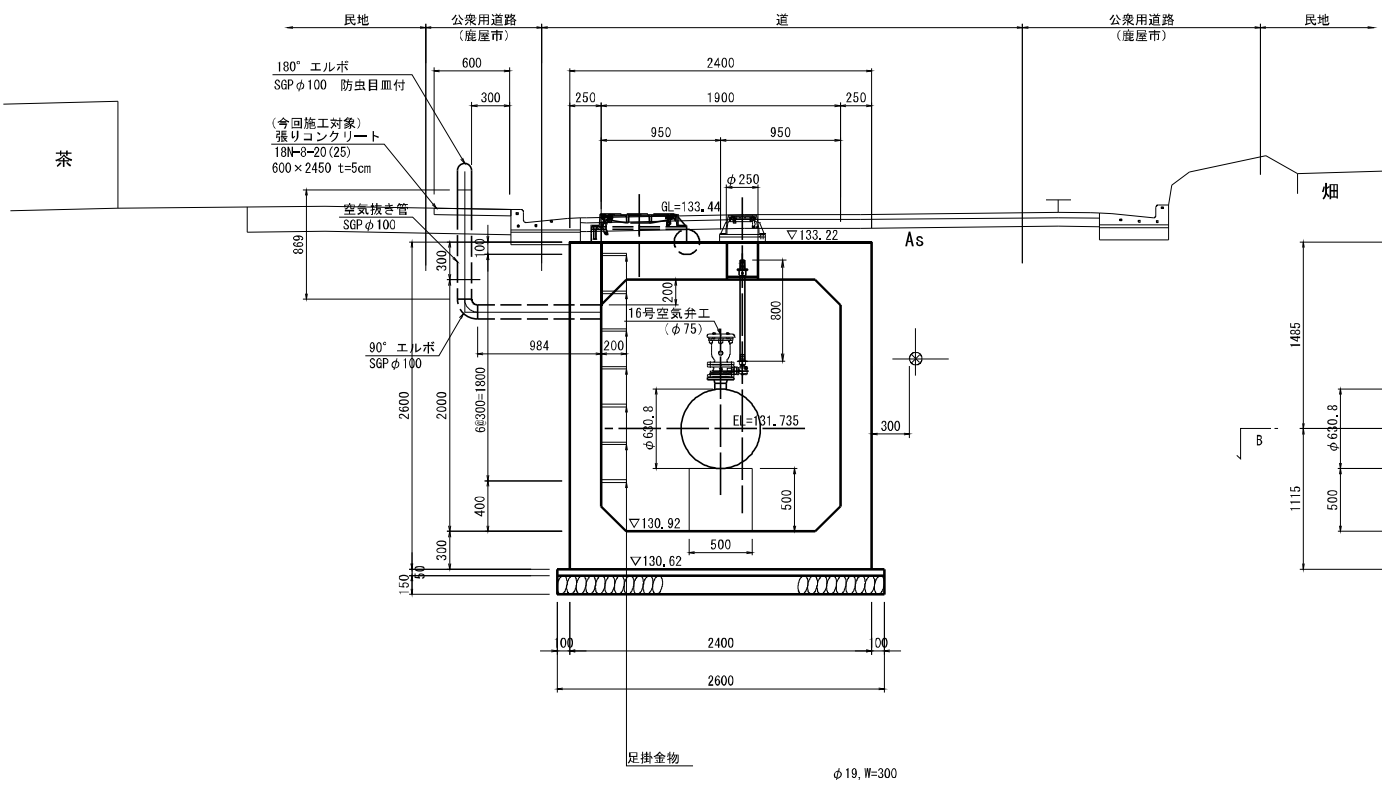
平面図



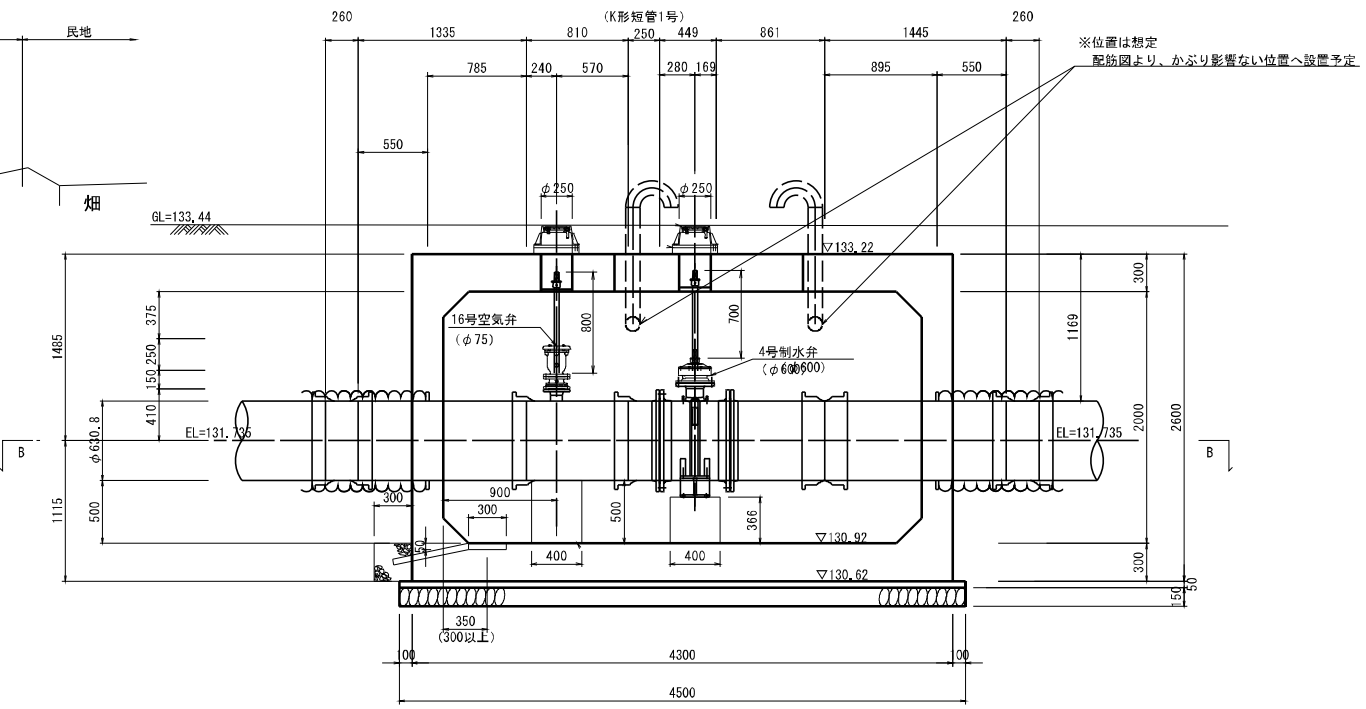
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図



鉄筋コンクリート	21N-12-20 (25)
無筋コンクリート	18N-8-20 (25)
鉄筋 (D13~D16)	SD295A
鉄筋 (D19)	SD345

工事名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事		
図面名	4号制水弁室付帯工図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業
B幹線水路（下高隈工区）復旧工事

参考図面

【縮小図面】

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

令和 7 年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路（下高隈工区）復旧工事			
図 面 目 録			
図面番号	名 称	枚 数	備 考
参－ 1	平 面 縦 断 図	2	
計		2	

平面縦断図 (1/2)

V=1:100
H=1:500

B幹線水路(下高隈工区)改修工事 施工区間 L=469.4m SL=469.4m

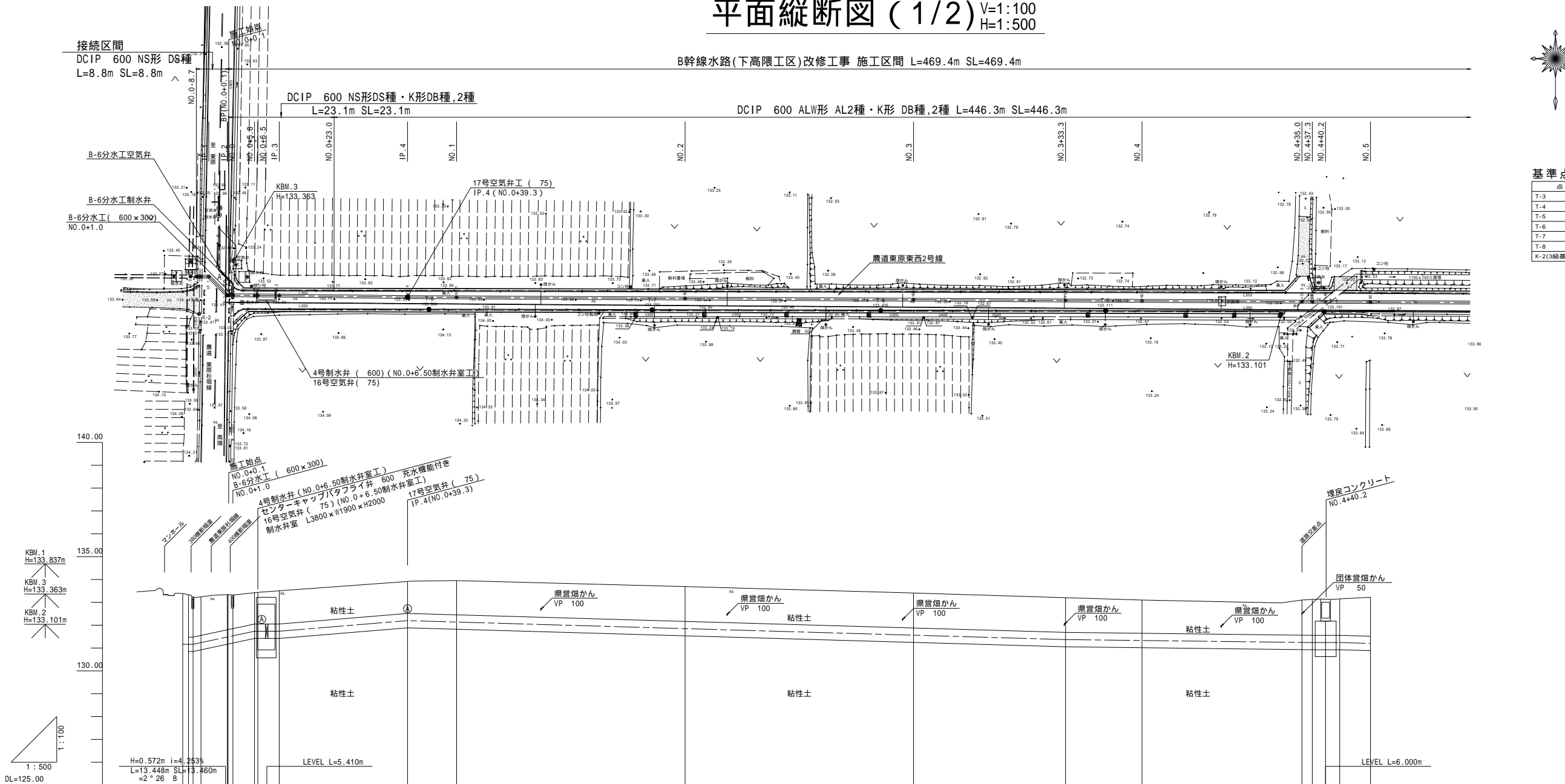


基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標
T-3	-172381.875	-11814.533
T-4	-172382.302	-11767.742
T-5	-172382.552	-11719.931
T-6	-172382.525	-11670.721
T-7	-172382.709	-11620.679
T-8	-172382.815	-11571.849
K-2(3級基準点)	-172381.821	-11521.566

中心線座標一覧表

測点名称	X座標	Y座標
-8.7	-172389.997	-11520.940
IP.1	-172389.977	-11523.666
IP.2	-172385.882	-11527.714
NO.0	-172385.881	-11527.901
BP(+0.1)	-172385.880	-11528.029
+5.8	-172385.851	-11533.678
+6.5	-172385.847	-11534.401
IP.3	-172385.823	-11539.088
IP.4	-172385.491	-11567.166
NO.1	-172385.436	-11577.899
NO.2	-172385.179	-11627.898
NO.3	-172384.922	-11677.897
+33.3	-172384.751	-11711.162
NO.4	-172384.665	-11727.897
+35.0	-172384.485	-11762.896
+37.3	-172384.474	-11765.161
+40.2	-172384.459	-11768.061
NO.5	-172384.408	-11777.896
NO.6	-172384.151	-11827.895
NO.7	-172383.895	-11877.895
+9.8	-172383.844	-11887.695
+14.7	-172383.819	-11892.595
NO.8	-172383.638	-11927.894
IP.5	-172383.465	-11961.590
NO.9	-172383.109	-11977.890
IP.6	-172382.941	-11985.583
+12.1	-172382.919	-11989.988
+18.5	-172382.882	-11997.133
EP(+19.5)	-172382.877	-11998.165



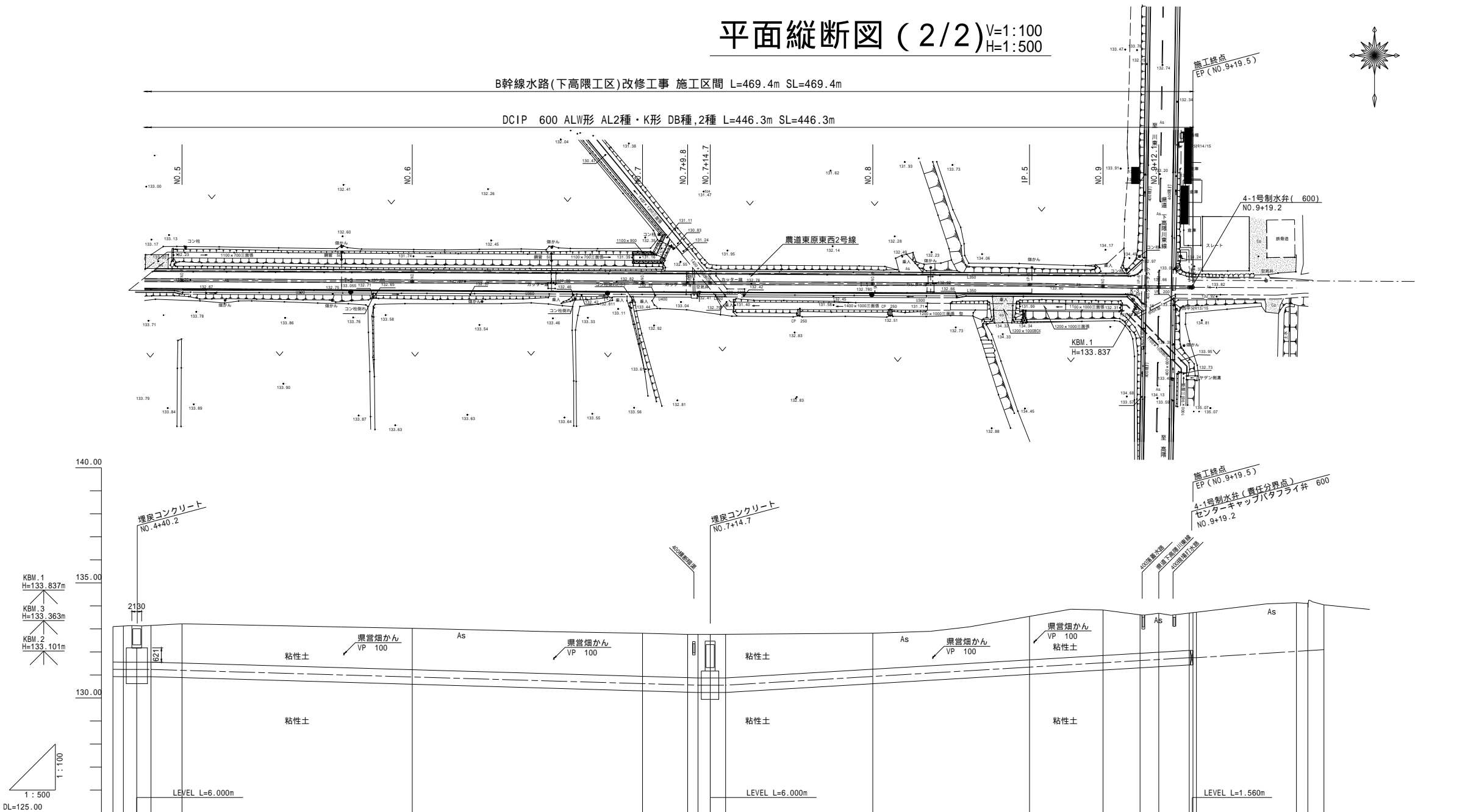
計	勾配	131.163 131.163 131.735 131.735 132.199 131.370 131.240 131.240									
		DCIP 600 NS形DS種 DCIP 600 NS形DS種 DCIP 600 ALW形AL2種・K形DB種, 2種 DCIP 600 ALW形AL2種・K形DB種, 2種									
画	管種・管径	1.85 1.69 1.54 1.37 1.39 1.46 1.53 1.53 1.52 1.46 1.54 1.57 1.58 1.59 1.71									
		131.163 131.163 131.236 131.481 131.285 131.534 131.285 131.335 131.335 131.735 131.370 131.240 131.240 131.240 131.201									
現況	地盤高	133.39 133.24 133.34 133.44 133.91 133.95 133.69 133.41 133.20 133.10 133.10 133.22									
	追加距離	-9.831 -9.571 -5.945 -0.187 0.128 1.048 0.128 5.777 6.500 11.187 39.267 50.000 100.000 150.000 183.265 200.000 235.000 237.265 240.165 243.265 250.000									
	単距離	1.260 1.726 1.578 0.187 0.108 0.920 0.108 4.729 0.723 4.687 28.080 10.793 50.000 50.000 33.265 16.735 35.000 2.265 2.900 3.100 6.735									
	測点	NO.0-9.9 NO.0-7.7 NO.0-5.9 NO.0-0.2 NO.0-0.2 NO.0+1.0 NO.0+5.8 NO.0+6.5 NO.0+11.2 (IP.3) NO.0+23.0 NO.0+39.3 (IP.4) NO.1 NO.2 NO.3 NO.3+33.3 NO.4 NO.4+35.0 NO.4+37.3 NO.4+40.2 NO.4+43.5 NO.5									
	曲線	IA=45° 2' 35" IA=45° 2' 35" IA=0° 23' 2" IA=0° 18' 39" IA=0° 23' 2"									

工事名	令和7年度宮野原園管施設機能保全事業		
図面名	B幹線水路(下高隈工区)復旧工事		
年月日	平面縦断図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	参1 - 1 / 2
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		

平面縦断図 (2/2)
V=1:100
H=1:500

B幹線水路(下高隈工区)改修工事 施工区間 L=469.4m SL=469.4m

DCIP 600 ALW形 AL2種・K形 DB種,2種 L=446.3m SL=446.3m



基準点座標一覧表

点 名	X座標	Y座標
K-3(3級基準点)	-172380.173	-11984.381
T-1	-172381.291	-11927.673
T-2	-172381.601	-11870.289
T-3	-172381.875	-11814.533

中心線座標一覧表

測点名称	X座標	Y座標
-8.7	-172389.997	-11520.940
IP.1	-172389.977	-11523.666
IP.2	-172385.882	-11527.714
NO.0	-172385.881	-11527.901
BP(+0.1)	-172385.880	-11528.029
+5.8	-172385.851	-11533.678
+6.5	-172385.847	-11534.401
IP.3	-172385.823	-11539.088
IP.4	-172385.491	-11567.166
NO.1	-172385.436	-11577.899
NO.2	-172385.179	-11627.898
NO.3	-172384.922	-11677.897
+33.3	-172384.751	-11711.162
NO.4	-172384.665	-11727.897
+35.0	-172384.485	-11762.896
+37.3	-172384.474	-11765.161
+40.2	-172384.459	-11768.061
NO.5	-172384.408	-11777.896
NO.6	-172384.151	-11827.895
NO.7	-172383.895	-11877.895
+9.8	-172383.844	-11887.695
+14.7	-172383.819	-11892.595
NO.8	-172383.638	-11927.894
IP.5	-172383.463	-11961.931
NO.9	-172383.115	-11977.890
IP.6	-172382.938	-11985.924
+12.1	-172382.919	-11989.988
+18.5	-172382.885	-11996.605
EP(+19.5)	-172382.880	-11997.415

計	勾配	131.240		130.555		131.750		132.100	
		131.240	131.240	130.555	130.555	131.750	131.750	132.100	132.100
画	管種・管径	DCIP 600 ALW形AL2種・K形DB種,2種							
現	土被り	1.54	1.57	1.58	1.59	1.71	1.80	1.87	1.88
		1.54	1.57	1.58	1.59	1.71	1.80	1.87	1.88
況	管中心高	131.245	131.240	131.240	131.240	131.201	130.913	130.624	130.568
		131.245	131.240	131.240	131.240	131.201	130.913	130.624	130.568
	地盤高	133.10			133.22		133.03	132.81	132.76
		133.10			133.22		133.03	132.81	132.76
	追加距離	235.000	237.265	240.165	243.265	250.000	300.000	350.000	359.800
		235.000	237.265	240.165	243.265	250.000	300.000	350.000	359.800
	単距離	35.000	2.265	2.900	3.100	6.735	50.000	50.000	9.800
		35.000	2.265	2.900	3.100	6.735	50.000	50.000	9.800
	測点	NO.4+35.0	NO.4+37.3	NO.4+40.2	NO.4+43.5	NO.5	NO.6	NO.7	NO.7+9.8
		NO.4+35.0	NO.4+37.3	NO.4+40.2	NO.4+43.5	NO.5	NO.6	NO.7	NO.7+9.8
	曲線								

工 事 名	令和7年度笠野原国営施設機能保全事業 B幹線水路(下高隈工区)復旧工事		
図 面 名	平面縦断図(2/2)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	参1 - 2 / 2
会 社 名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		